

平成26年度
流域水循環計画に基づく
施策の実施状況
〈北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域〉

平成28年3月

宮 城 県

— 目 次 —

流域水循環計画	1
健全な水循環の確保に関する取組の実施状況	4
1 概要	4
2 要素ごとの実施状況	4
(1) 清らかな流れ	4
(2) 豊かな流れ	12
(3) 安全な流れ	13
(4) 豊かな生態系	14
3 水道水源特定保全地域の指定	19
4 流域水循環計画推進会議の開催	20
5 管理指標による状況評価	20
(1) 北上川流域	20
(2) 鳴瀬川流域	21
(3) 名取川流域	22
資料	
関係団体等の取組報告事例	23

流域水循環計画

流域水循環計画は、「ふるさと宮城の水循環保全条例」第12条により策定されるもので、流域における健全な水循環の保全を図ることを目的とし、流域の水循環の課題への対応、流域の上流から下流までが一体となり、県民、民間団体、NPO法人、事業者、関係行政機関等による連携・協働を図っていくための具体的な施策を定めるものである。

計画の推進に当たって、県内を5つの流域に分け、健全な水循環の保全を図る緊急度が高いと認められる流域から順に流域ごとの水循環計画を定めており、鳴瀬川流域水循環計画が平成21年3月に、北上川流域水循環計画及び名取川水循環計画が平成23年1月に策定されている。

それぞれの対象区域は、下図に示すとおりである。

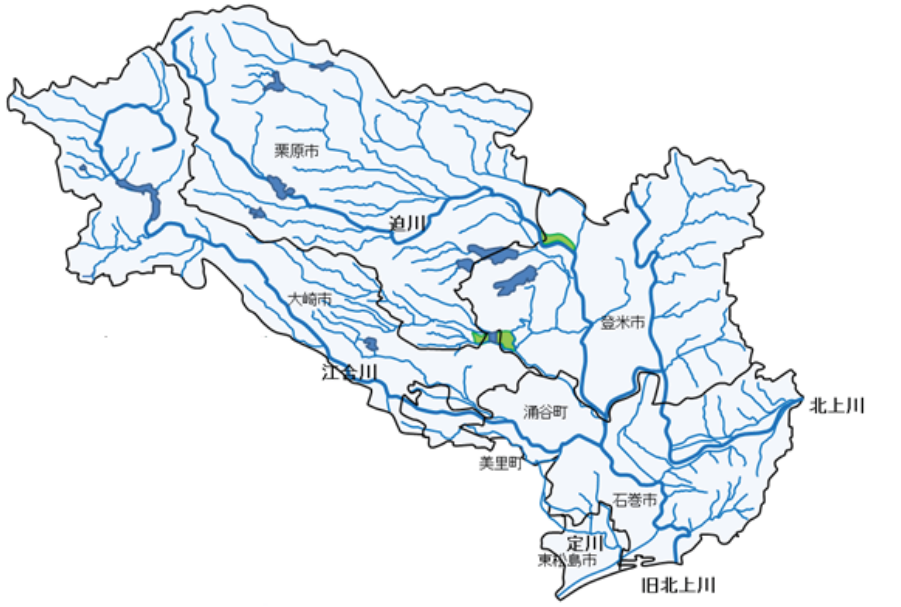
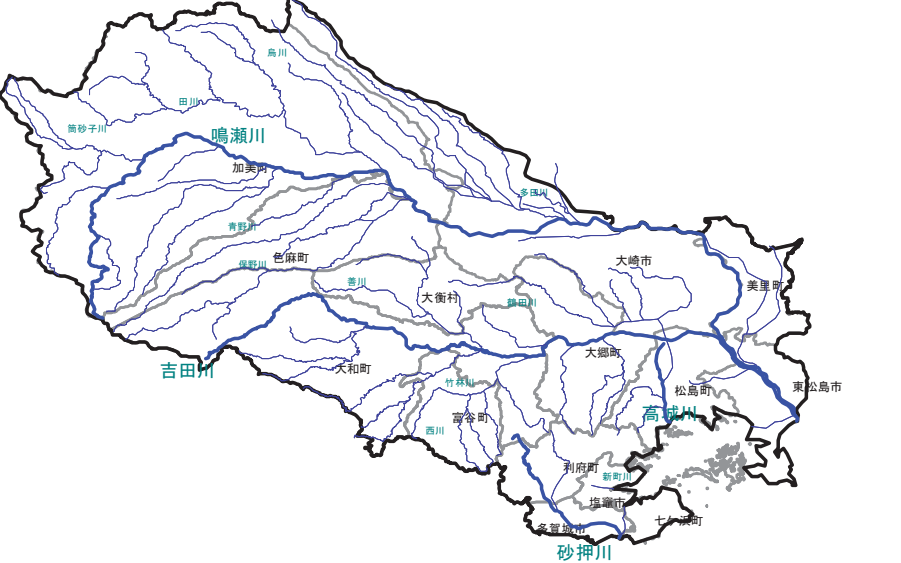
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">北上川流域</p>		<p>【対象区域】 石巻市(一部), 登米市, 栗原市, 東松島市(一部), 大崎市(一部), 涌谷町, 美里町(一部)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">鳴瀬川流域</p>		<p>【対象区域】 塩竈市, 多賀城市, 東松島市(一部), 大崎市(一部), 松島町, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町, 大郷町, 富谷町, 大衡村, 色麻町, 加美町, 美里町(一部)</p>

図 - 1 計画対象流域（北上川・鳴瀬川流域）



【対象区域】
仙台市，名取市，川崎町

図 - 2 計画対象区域(名取川流域)

流域水循環計画は、健全な水循環の保全を目指し、県民、事業者、行政等がそれぞれ公平な役割分担のもとに、自主的かつ積極的に取り組むための基本的な方向性を示した「宮城県水循環保全基本計画」をもとに策定されている。

この流域水循環計画の中では、それぞれの流域で以下の課題と対応が示されている。

表 基本計画における流域の課題と対応

基本計画における流域の課題		課題に対する対応
北上川流域	清らかな流れ ラムサール条約登録湿地、石巻湾等の水域の水質改善及び河川水質の維持	○ラムサール条約登録湿地、石巻湾等の水質調査等
		・伊豆沼・内沼自然再生事業 水質改善導水試験調査
		・公共用水域水質測定計画に基づく水質測定調査
		○生活排水処理基本構想に基づく汚水処理人口普及率の向上
		○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の水環境保全活動
		○みやぎの環境にやさしい農業の推進
		・みやぎの環境に優しい農産物認証・表示制度の運用
		・持続性の高い農業生産方式(エコファーマー)の推進
		・みやぎの有機農業推進計画に基づく有機農業の推進
		○家畜排せつ物の利用の促進を図るための宮城県計画に基づく家畜排せつ物の利用促進
○スマイルサポーターによる美化活動などの推進		
○伊豆沼・内沼自然再生事業		
豊かな流れ	渇水時における節水や水利用の調整	○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水及び環境保全行動の実践
	ダム上流域等の水源林の整備、保全	○渇水情報連絡会等での情報の共有
		○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全
		○農業用水水源地域保全対策事業による水源林保全の普及促進
安全な流れ	災害時の流木対策や森林整備による災害の未然防止	○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全等の推進
	洪水時の防災体制の強化	○地域防災力の強化
	河川整備による洪水被害の防止、軽減	○河川情報システムによる情報提供
	豊かな水田環境の保全と農業用ため池の保全管理	○河川整備計画に基づく河川改修の実施
豊かな生態系	ラムサール条約登録湿地及び河川・水路等の生物多様性の保全	○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の水環境保全活動
		○伊豆沼・内沼自然再生事業
		○蕪栗沼遊水地環境保全事業
		○みやぎ農業農村整備基本計画に基づく環境との調和に配慮した整備の推進(みやぎ農業農村整備基本計画(改訂版))
		○河川の生態系保全対策の推進
		・多自然川づくりの実施
		・在来個体群の保全
		○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の生態系保全活動
		○水環境保全の普及啓発 水生生物調査
		○水生生物の保全に係る環境基準の類型指定

基本計画における流域の課題		課題に対する対応	
鳴瀬川流域	清らかな流れ	○漆沢ダム等の現地調査等に基づく水質汚濁メカニズムの解明 ・異臭味や藻類の異常発生対策のための取水位置の改善 ・貯水循環装置による表層水と底層水の混合 等	
		○松島湾水質浄化対策事業に基づく流入負荷量の削減等の推進 ・下水道・浄化槽等整備の着実な推進 ・下水道の高度処理の推進 ・環境保全型農業の推進 ・高城川・貞山運河・東名運河の浚渫 ・水質・底質等のモニタリング調査の実施 等	
	豊かな流れ	○水道事業体等による節水の普及啓発 ・広報誌などによる住民への節水の呼びかけ ・温水情報連絡会による温水時の低水管理及び円滑な水利用等の温水調整	
		○環境配慮行動宣言(みやぎe行動(eco do!)宣言)に基づく節水の普及啓発 ・水道やシャワーの蛇口をこまめに止める ・節水コマや水洗トイレ用疑似音発生器の導入 ・雨水や工場排水の散水、洗車等への利用	
		○鳴瀬川水系河川整備計画等に基づくダム整備 ・筒砂子ダム、田川ダム、二ツ石ダムの計画的な整備	
		○みやぎ農業農村整備基本計画に基づく農業利水施設の持続的な機能の発揮 ・農業利水施設について点検整備等の実施体制整備 ・適切な機能診断と予防保全対策 等	
	豊かな生態系	○みやぎ食と農の県民条例基本計画に基づく環境保全型農業の推進 ・浅水代かきや農業用水の反復利用の普及支援 等	
		○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林の整備・保全等の推進 ・多様性に富む健全な森林の整備 ・松くい虫対策等森林の保護 ・保安林の適正な管理と整備	
	名取川流域	清らかな流れ	○釜房ダム、仙台港等の水質調査等 ・閉鎖性水域に関する自然汚濁負荷削減対策調査 ・公共用水域水質測定計画に基づく水質測定調査
			○釜房ダム貯水池に係る湖沼水質保全計画に基づく汚濁負荷低減対策 ○生活排水処理基本構想に基づく汚水処理人口普及率の向上
○農地・水・環境保全向上対策に基づく地域の水環境保全活動 ○みやぎの環境にやさしい農業の推進 ・みやぎの環境に優しい農産物認証・表示制度の運用 ・持続性の高い農業生産方式(エコファーマー)の推進 ・みやぎの有機農業推進計画に基づく有機農業の推進			
○スマイルサポーターによる美化活動などの推進 ○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全			
豊かな流れ		○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水及び環境保全行動の実践 ○温水情報連絡会等での情報の共有 ○導水等による河川流量の確保 ○農業用水水源地域保全対策事業による水源林保全の普及促進 ○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全	
		○ハザードマップ活用による地域防災力の強化	
安全な流れ		○河川情報システムによる情報提供 ○河川整備計画に基づく河川改修の実施	
		○農地・水・環境保全向上対策に基づく地域の水環境保全活動 ○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全	
豊かな生態系		○蒲生干潟自然再生事業 ○河川の生態系保全対策の推進 ・多自然川づくりの実施 ・魚道等における遡上降下環境の改善	
		○みやぎ農業農村整備基本計画に基づく環境との調和に配慮した整備の推進(みやぎ農業農村整備基本計画(改訂版))	
	○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の生態系保全活動 ○水環境保全の普及啓発 水生生物調査		
	○水生生物に係る環境基準の類型指定		

健全な水循環の確保に関する取組の実施状況

1 概要

(1) 清らかな流れ

公共用水域の水質調査，水生生物調査，下水道整備事業及び活動団体や市町村による美化活動が実施された。

(2) 豊かな流れ

流域内における水源かん養機能を維持し，豊かな水量を確保するために保安林の整備等が実施された。

(3) 安全な流れ

名取川水系川内沢川では，平成6年の集中豪雨により名取・岩沼両市では甚大な浸水被害があり，総合的な治水安全度の向上を図るため，平成7年度より着手していた川内沢川放水路の整備完成の目処がたった。（平成27年6月に川内沢川放水路の竣工式が実施されている。）

(4) 豊かな生態系

山間部では植樹事業や森林整備事業等を実施し，河川などの水域では，田んぼの生き物調査の実施や在来種の保護等，生態系の保全に努めた。

2 要素ごとの実施状況

(1) 清らかな流れ

平成26年度の公共用水域水質測定結果によると，3流域内の類型指定された全ての河川において，BODの環境基準を達成していた。

3流域内の類型指定された湖沼では，いずれの水域でもCODの環境基準を超過していた。3流域内で，全りんの環境基準は4地点で適用されているが，3地点で環境基準を超過していた。

3流域内の類型指定された海域のうち，CODの環境基準は18地点で適用されているが，9地点で環境基準を達成していた。全窒素及び全りんの基準が適用される港橋，西浜，桂島の3水域中，港橋，西浜にて全窒素及び全りんともに環境基準を超過した。

表 -2-(1) 公共用水域水質測定結果 (平成 26 年度)

公共用水域データ (単位: mg/L)

流域	区分	水域名	測定地点名	BOD		COD		全窒素		全りん		
				測定値	基準値	測定値	基準値	測定値	基準値	測定値	基準値	
北上川流域	河川	金流川	小畑橋	1.5	2							
		有馬川上流	宇南田橋	1.0	2							
		北上川(4)	登米大橋	1.0	2							
		旧北上川上流	神取橋 (和淵)	1.2	2							
		旧北上川下流	門脇	1.0	3							
		迫川上流・二迫川上流及び三迫川上流	花山ダム流入部	0.5	1							
			鍛冶屋橋	0.7	1							
		洞方橋 (栗駒ダム流入部)	0.5	1								
		迫川中流	若柳	0.8	2							
		迫川下流	西前橋	1.6	3							
		江合川上流	轟橋	0.6	1							
		江合川中流	清水閘門	0.6	2							
		江合川下流	及川橋	1.2	3							
		出来川	小生田橋	2.0	5							
		大崎市古川地区内	新堀ヶ森入口	1.7	5							
		定川全域	定川大橋	1.2	5							
	湖沼	栗駒ダム	ダムサイト			1.5	1	0.18	-	0.009	-	
		花山ダム	ダムサイト			2.4	1	0.28	-	0.016	-	
		鳴子ダム	ダムサイト			1.7	1	0.26	-	0.017	-	
		伊豆沼	伊豆沼出口			9.6	5	0.94	-	0.072	-	
		長沼	長沼出口			8.8	5	0.47	-	0.058	-	
		海域	石巻地先海域(甲1)	工業港入口			4.4	8	0.38	-	0.041	-
	石巻地先海域(甲2)		雲省野海岸沖H-1			6.6	8	0.30	-	0.040	-	
	石巻地先海域(乙1)		長浜沖N-2			3	3	0.16	-	0.021	-	
	石巻地先海域(乙3)		雲省野海岸沖H-2			5.8	3	0.031	-	0.036	-	
	石巻地先海域(丙)		工業港沖K-3			3.2	2	0.23	-	0.024	-	
			雲省野海岸沖H-3			3.2	2	0.34	-	0.029	-	
鳴瀬川流域	河川	筒砂子橋			0.8	1						
		鳴瀬川上流	唐府沢川最下流	0.5	1							
			漆沢ダム流入部	0.5	1							
		鳴瀬川中流	感恩橋	1.2	2							
		鳴瀬川下流	小野橋	1.5	3							
		吉田川上流	魚板橋	0.9	2							
		吉田川下流	善川橋	1.5	3							
			二子屋橋 (鹿島台)	1.5	3							
		鶴田川	下志田橋	2.3	5							
		高城川	明神橋	1.6	5							
		新町川	常盤橋	1	5							
		砂押川上流	多賀城堰	2.2	5							
		砂押川下流	念仏橋	1.1	5							
	貞山運河	貞山橋	1.5	5								
	湖沼	漆沢ダム	ダムサイト			4.3	1	0.32	-	-	-	
		南川ダム	ダムサイト			3.6	3	0.45	(0.2)	0.018	0.01	
	海域	石巻地先海域(丙)	鳴瀬沖			3.5	2	0.2	-	0.025	-	
		松島湾(甲)	港橋			3.5	8	0.89	0.6	0.120	0.05	
		松島湾(乙)	西浜			2.6	3	0.31	0.3	0.042	0.03	
		松島湾(丙)	桂島			3.1	2	0.19	0.3	0.029	0.03	
		仙台港地先(丙)	菟浦田前-1			3.1	2	0.17	-	0.024	-	
		その他の地先海域	桂島海水浴場			2.9	2	-	-	-	-	
	名取川流域	河川	七北田川上流	七北田橋	1.7	2						
			七北田川中流	福田大橋	1.6	3						
			七北田川下流	高砂橋	1.8	5						
			梅田川	福田橋	1.9	5						
			名取川上流	いもくぼ橋	0.5	1						
北川橋				0.7	1							
北向橋				0.5	1							
深野橋				0.5	1							
余方 (栗木橋)				0.7	2							
名取川中流			閼上大橋	1.7	3							
名取川下流			名取川合流前	1.7	5							
筑川			鳴合橋	0.6	2							
広瀬川(1)			三橋	1.6	3							
大倉川			流の上橋	0.5	1							
大倉川			最下流	0.5	1							
増田川上流			薬師橋	0.6	2							
増田川中流			小山橋	1	3							
増田川下流			毘沙門橋	1.6	5							
下堀用水路			境橋	1	5							
川内沢川			筋違橋上流	1.7	3							
湖沼			釜房ダム	ダムサイト			2.9	1	0.52	(0.2)	0.017	0.01
		樽水ダム	ダムサイト			3.5	3	0.47	-	-	-	
		大倉ダム	ダムサイト			2.2	1	0.17	(0.2)	0.010	0.01	
		七北田ダム	ダムサイト			3.7	3	0.25	(0.2)	0.017	0.01	
海域		仙台港地先海域(甲)	内港-4			3.2	8	0.29	-	0.037	-	
		仙台港地先海域(乙)	外港-3			1.3	3	0.31	-	0.030	-	
			蒲生-3			1.3	3	0.84	-	0.057	-	
		仙台港地先海域(丙)	御殿崎-1			2.6	3	0.19	-	0.028	-	
			御殿崎-2			3.1	2	0.16	-	0.025	-	
荒浜-3				2.5	2	0.20	-	0.020	-			

注1) 測定値とは公共用水域水質測定結果による75%値(BOD・COD)又は年平均値(全窒素・全りん)で、着色部分は環境基準超過を示す。

注2) 湖沼全窒素の環境基準は当分の間適用しない。

注3) 西浜, 御殿崎-1のCOD値はアルカリ告示法で実施。

また、平成26年度の全国水生生物調査は、北上川流域内では15か所、鳴瀬川流域内では5か所、名取川流域内では12か所で実施された。この調査は、河川の水質を総合的に評価するため水生生物を指標として水質を4つのレベルに分けて判定するもので、環境省と国土交通省が一般市民の協力を得て実施している。

調査地点及び調査結果

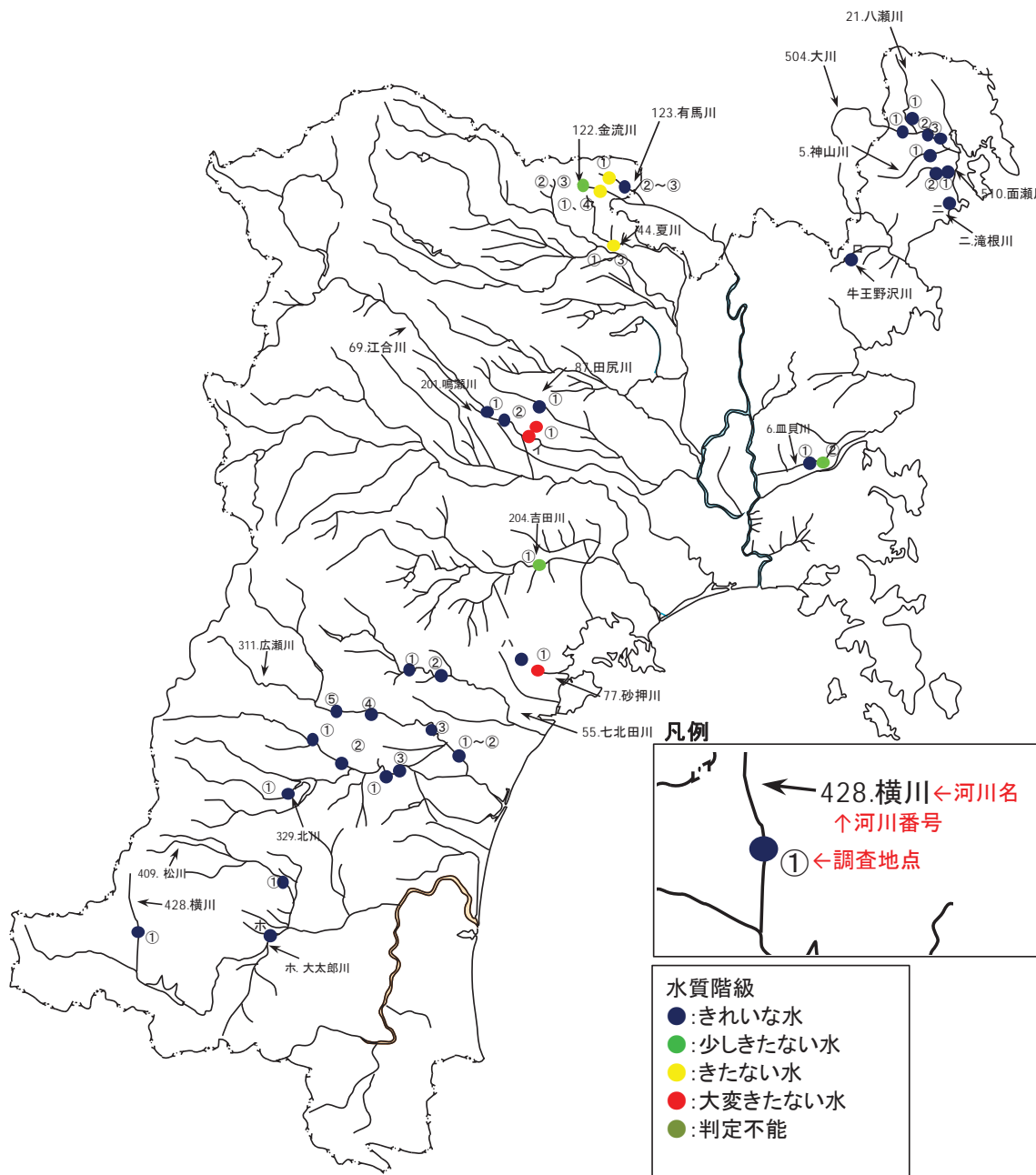


図 -2-(1)-1 全国水生生物調査における調査地点等（宮城県内）

流域内では、下水道、農業集落排水施設、漁業集落排水施設等の集合処理施設や合併処理浄化槽等の個別処理施設の整備が進められている。

流域ごとの汚水処理人口普及率の経年変化は以下のとおりであり、年々上昇傾向にある。なお、平成22年度の値は東日本大震災の影響により集計されていない。

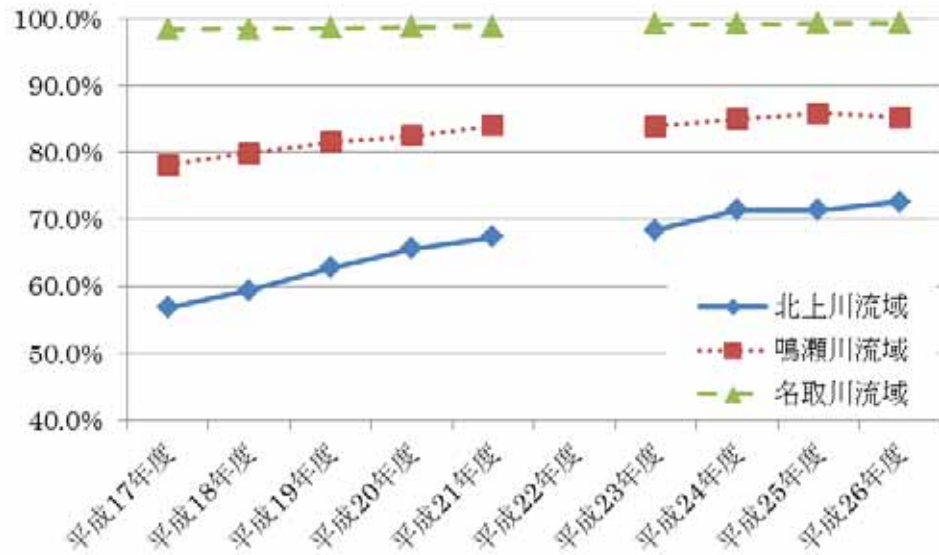


図 - 2 - (1)-2 流域ごとの汚水処理人口普及率の経年変化

※北上川流域について、石巻市、大崎市、東松島市、美里町の一部で流域外を含む。

※鳴瀬川流域について、東松島市、大崎市、美里町の一部で流域外を含む。

流域内における関係団体等の取組事例は次のとおりである（【 】内は報告団体又は事業主体。）。

北上川流域での取組

1) 水生生物による水質調査【石巻市ほか】

水質保全及び水質浄化意識の普及啓発を図ることを目的として、市内の小・中学生を対象に皿貝川の水辺に生息する水生生物調査を実施した。



2) 環境美化活動【日本製紙株式会社 石巻工場】

工場近辺である石巻湾周辺について、東日本大震災後、空き地が多くなっており、不法投棄が数多く見受けられることから、清掃活動を行った。



鳴瀬川流域での取組

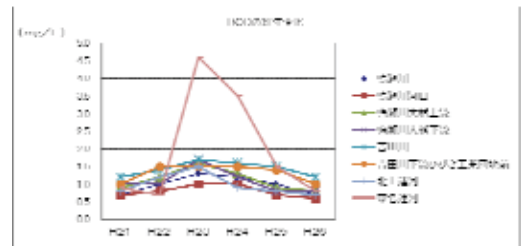
3) ふゆみずたんぼでの環境保全米栽培の実施
【株式会社一ノ蔵ほか】

農薬や化学肥料にたよらない酒米栽培方法の確立を目的として、環境保全型酒米栽培，鳴瀬川からの用水によるふゆみず田んぼの実施，宮城大学とのグリーンツーリズムを実施した。



4) 平成26年度公共用水域水質調査
【東松島市】

東松島市内の公共用水域における水質の現状把握のため、(BOD, 透視度, SS, DO, 大腸菌群など) 8地点で水質調査を実施した。



5) 漁場環境保全推進事業(鳴瀬川における水質調査及び生物相調査) 【宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場】

鳴瀬川の河川環境を把握するために、水質と生物相の調査を行った。実施期間内に水質調査3項目と生物相調査を行い、魚類，付着藻類，底生生物を採捕した。

		年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014							
		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
水質	水温		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	溶存酸素		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	透明度		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	BOD		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	SS		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	DO		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	大腸菌群		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	生物相		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	魚類		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	付着藻類		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
底生生物		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
採捕		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

6) しちがはまクリーンサポートプログラム、巡回監視・回収【七ヶ浜町】

海岸清掃等ゴミ拾い活動を行い、海浜を美しく保つとともに、住民・来訪者への意識啓発を図った。また、ゴミがゴミを呼ぶ状況を作らないよう、なるべく早くゴミの撤去を行い、のべ1,300人の参加により、ゴミ袋650袋分を回収処分した。



7) 河川清掃【色麻町河川愛護会ほか】

河川清掃を通じ、天災を防止し、地域住民の共同の福祉を増進する目的で、花川，深川，保野川，長谷川，河童川等の雑草木の刈り払いを実施した。



8) 河川清掃【大衡村河川愛護会ほか】

良好な河川の維持管理を実施し、天災を防止し、地域住民の福祉の向上に寄与するため、吉田川の支流である善川や埋川等で雑草木の刈り払いを行った。



9) 鳴瀬川堤防除草作業【大崎市ほか】

堤防及び隣接施設「下伊場野水辺の楽校」に繁茂した草を除草し、堤防の保全、河川巡視の障害除去及び地域の環境維持に寄与した。小まめな除草作業によって、害獣・害虫の発生が抑制され、誰もが気軽に川辺散策できる空間が維持できた。



名取川流域での取組

10) 釜房ダム周辺の清掃活動【特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会ほか】

湖水の水質保全と啓蒙活動を目的として、釜房ダム周辺の清掃活動を行った。



11) 水源の森活動，工場周辺清掃活動，防災林活動【キリンビール株式会社仙台工場ほか】

水源地の環境保全，工場周辺の自然保護，震災で被災した宮城県沿岸地区の防災林再生のため，北蔵王山麓国有林の下草刈り，枝打ち活動や定期的な清掃活動，黒松等を植林するボランティア活動を行った。



12) 水源の森づくり育樹祭【川崎町ほか】

水源の町として育樹祭を通し森林機能の理解を深め森林育成の意識高揚を目指すことを目的とし、町内の町有林で、枝打ち作業，間伐体験，木工体験，森林の機能や林業に関する学習会を実施した。



13) 地域環境と生き物調査等の学習支援活動（仙台市南小泉小学校）【特定非営利活動法人 あぐりねっと21ほか】

地域環境と生き物調査等の学習支援活動を行うため、南小泉小学校の5年生児童76名に引率教師、保護者を加えた約100名を対象に、七郷堀や愛宕堰の役割についての説明、見学並びに生き物調査、植物調査、水質調査などを実施した。



14) 広瀬川1万人プロジェクト（一斉清掃）【広瀬川1万人プロジェクト実行委員会ほか】

杜の都・仙台市のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするため、広瀬川流域で春季と秋季に一斉清掃を行った。

13会場で合計2,454人が参加し、ゴミ袋728個分のゴミを回収した。



15) 広瀬川で遊ぼう（親水イベント）【広瀬川で遊ぼう実行委員会ほか】

広瀬川下流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、河川環境に対する関心の高揚を図るため、手漕ぎボード、Eボード、ペットボトルロケット作りなどを広瀬川宮沢緑地で実施し、3日間で3,800名が参加した。



16) 作並かつぱ祭り（親水イベント）【作並かつぱ祭り実行委員会ほか】

広瀬川上流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、子どもたちに川の魅力と危険性を伝え、河川環境に対する関心の高揚を図るため、広瀬川支流の新川にてスイカ割り、石ころアート等を行った。



17) 広瀬川1万人プロジェクトフォーラム【広瀬川1万人プロジェクト実行委員会ほか】

市民・企業・行政の活動事例を通して学びあいながら、今後の活動の幅を広げるべく、それぞれの立場で実施できることを考える機会・場を提供することを目的に基調講演、取組状況の紹介、話題提供等を行った。



18) 釜房ダム湖畔清掃・青下ダム周辺清掃【仙台市水道局ほか】

水源保全を目的に、釜房ダム湖畔清掃、青下ダム周辺清掃の活動を市民との協働により実施した。



19) 名取川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組【名取川水系水質汚濁対策連絡協議会ほか】

河川・湖沼及び水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川の水質汚濁防止のための連絡調整や水質事故に備えた現地対応訓練の実施、河川ゴミ対策及び水質汚濁対策に関する啓発活動を行った。



複数流域にまたがる取組

20) 北上川水系及び鳴瀬川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組【北上川水系水質汚濁対策連絡協議会江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会ほか】

北上 鳴瀬 名取

河川・湖沼及び水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図るため、河川水質汚濁防止のための連絡調整や水質事故に備えた通報訓練や現地対応訓練、河川ゴミ対策及び水質汚濁対策に関する啓発活動を行った。



21) スマイルリバー・プログラム【スマイルサポーター（総称）ほか】 **北上 鳴瀬 名取**

県管理河川におけるボランティア活動を支援し、ボランティア活動の活性化及び河川に関する地域環境の維持向上を通して、住民参加のまちづくりを図るため、一定の要件を満たす団体をスマイルサポーターに認定している。



22～24) 甦る水環境みやぎ【宮城県下水道課ほか】 **北上 鳴瀬 名取**

県民が快適な生活を営むことができるよう、排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させると共に、良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ、循環型の豊かな水環境を形成しようとするもので、平成22年3月の改訂時に設定された平成32年度末の短期目標を目指して各種事業を実施した。

(2) 豊かな流れ

流域ごとの土地利用区分を基に計算した蒸発散量を差し引いたもののうち、河川へ流出する割合のことを流出係数という。

この流出係数が望ましい値としている森林(0.4)を10としたとき、各流域の流出係数は下図のとおりであり、ほぼ横ばいとなっている。

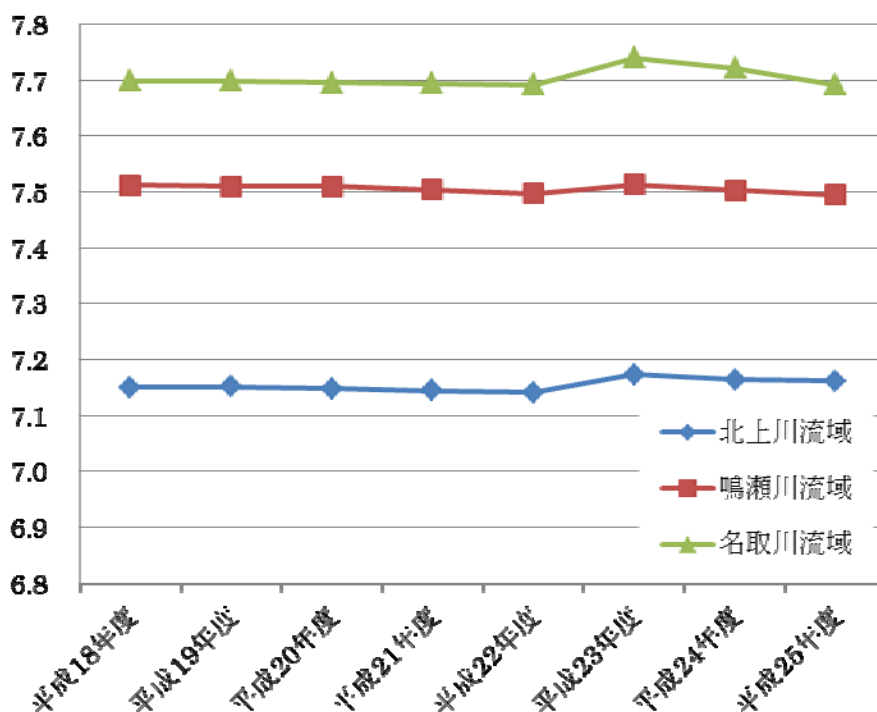


図 -2-(2) 森林(0.4)を10としたときの流出係数の経年変化

※北上川流域について、石巻市、大崎市、東松島市、美里町の一部で流域外を含む。

※鳴瀬川流域について、東松島市、大崎市、美里町の一部で流域外を含む

流域内における関係団体等の取組事例は次のとおりである（【 】内は報告団体又は事業主体。）。

名取川流域での取組

25) 身近な水環境全国一斉調査 ほか【特定非営利活動法人 宮城県河川環境研究会ほか】

身近な水環境全国一斉調査に参加し、水質調査結果を水環境マップ作成のために情報提供したほか、小学校での総合学習支援、生き物調査や河川工作物の実態調査、水・自然環境保全対策の研修会等を行った。



26) 天水桶手づくり講座【仙台市ほか】

天水桶作りを通して天水桶の構造や原理を知り、天水桶の普及を図り、水環境を健全に保つことの大切さについて理解を深めるため、大型ゴミ箱等の身近な材料を利用し天水桶を作製した。



複数流域にまたがる取組

27～28) 森林保全整備事業等【林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署】

北上 鳴瀬 名取

国有林野施業実施計画に基づく機能類型、施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源かん養機能の維持増進のため、森林整備や保安林の適切な整備を行った。



(3) 安全な流れ

流域内における関係団体等の取組報告なし。

(4) 豊かな生態系

多様性の高い森林整備等の推進や身近な生き物の調査など、身近な緑空間の保全と創出・ふれあいに向けた取り組みが行われている。

流域内における関係団体等の取組事例は次のとおりである（【 】内は報告団体又は事業主体。）

北上川流域での取組

29) 伊豆沼・長沼の水環境保全活動【特定非営利活動法人 伊豆沼・長沼水環境ネットワークほか】

登米市クリーンアップ湖沼群への参加をはじめ、長沼、人と自然のふれあい調査、長沼地域の生きもの調査等を実施した。



30) 内川水土里の路ウォーク【水土里ネット大崎ほか】

地域の歴史ある農業用水利施設、農業農村の多面的機能、水を育む森林の働きについて地域住民にPRする目的で、農業用水路「内川」沿線を歩くイベント「内川ウォーク」を開催した。



31) 第三回県民参加の森林づくり植樹祭【みやぎ森林づくり支援センターほか】

森林の育成及び循環利用の促進普及を図るため、毎年植樹祭を開催しており、平成26年度は石巻市東福田の伐採跡地において、公募により参加した約140人がスギ苗木1,000本の植樹を実施した。



32) 伊豆沼・内沼自然再生事業【宮城県自然保護課ほか】

自然環境の遷移の進行を抑制するとともに、劣化した環境機能を修復し、多様な生物が生息、生育する淡水湖沼の生態系を有していた頃の伊豆沼・内沼への再生を目指すため、沈水植物増殖・移植や水生植物適正管理、外来魚低密度管理技術の開発等を行った。



33) 鬼首小学校・鳴子小学校きつね森体験／あつまれ鳴子ダム【特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会】

里山（水源地域）の役割と重要性を学ぶため、鬼首きつね森や荒雄湖畔公園等で活動を実施した。



34) 平成26年度国指定伊豆沼鳥獣保護区伊豆沼外来魚駆除事業【環境省東北地方環境事務所】

オオクチバスやブルーギル等の外来魚を駆除するため、過年度事業で実施した防除技術を活かし、外来魚の捕獲、駆除を実施した。また、これらで得られた各種データを収集し外来魚の生息状況の変化の把握を行った。



35) 北上川水系河川水辺現地調査【国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所】

北上川水系における鳥類の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とするため、鳥類の生息状況の経年変化、集団分布状況、繁殖状況、重要種の分布状況等を把握した。



鳴瀬川流域での取組

36) 下志田地区生きもの調査【志田谷地地域環境保全組合ほか】

農地整備事業「下志田地区」で施工した環境配慮型水路の施工前後における生息種の調査を行い、生息種のデータ収集、蓄積を行ったり、子供達に地域の豊かな自然と環境保全への理解を伝えた。



名取川流域での取組

37) 「増田川流域生きものマップ」プロジェクト【増田川流域マップ制作実行委員会】

増田川に生きる動植物をイラストマップで紹介し、河川に対する環境保全意識の向上を図ることを目的とし、「増田川流域マップ」が10月に完成（2000部）。それを流域の小中高校7校、公民館5館に50部ずつ配布。それがきっかけとなり、増田西公民館のシリーズ講座「地域力向上プロジェクト」のテーマに“増田川”が取り上げられた。



38) 漁業環境保全推進事業（広瀬川におけるアユの遡上量調査）【宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場】

広瀬川のアユの資源状況を把握するため、投網を用いてアユを採捕し、遡上量の状況を把握した。結果は速報として、宮城県のホームページで公開した。



39) 名取の海岸再生を目指す「海岸にお花畑づくり」事業【特定非営利活動法人 名取ハマボウフウの会】

東日本大震災で生き残った海浜植物をよみがえらせ、被害を受けた名取の海岸環境を回復し、次世代へ継承していくことを目的とし、海岸のお花畑再生事業として、海辺フォーラム、ハマボウフウの移植会等を実施した。



40) 水生生物調査【仙台市】

川にすむ生き物を採集し、その種類を調べることで、水質（水のごよれの程度）を判定するため、仙台市内の主要3河川において、小中学校と連携しながら水生生物調査を行った。また、採集された指標生物から河川の水質階級を判定することで、参加者への環境教育を行った。



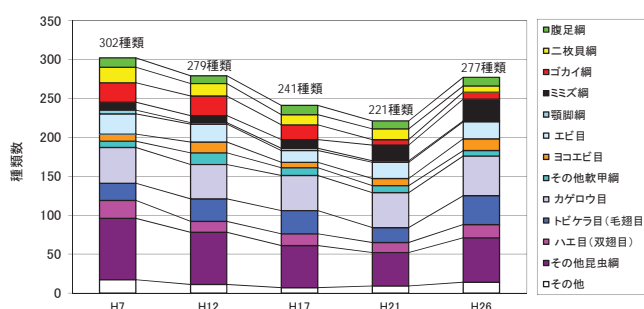
41) 総合学習【国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所ほか】

多種多様なフィールドを活用した学習支援活動として、仙台市内の小・中学生を対象に水生生物調査や簡易水質調査を実施し、地域に流れる河川の大切さや環境問題への意識を共有した。



42) 名取川水系河川水辺現地調査（底生生物）【国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所】

名取川水系における底生生物の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とするため、底生生物生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響の把握を行った。また、特定外来種や重要種等の分布状況の把握を行った



複数流域にまたがる取組

43～44) 森林ふれあい教室，林業体験等【林野庁宮城北部森林管理署ほか】 **北上** **鳴瀬** **名取**

森林の整備・保全への国民参加の促進を目的とし、森林整備活動を加美町、栗原市、大和町でそれぞれ実施した。



45) みやぎの里山林協働再生支援事業【宮城県自然保護課ほか】

北上 鳴瀬 名取

企業のCSR活動を主体とした県民参加による里山林整備を促進するため、森林づくり活動を行おうとする企業等と、活動の場が提供できる森林所有者との橋渡し役となって里山林の整備を支援している。



46) 百万本植樹事業【宮城県自然保護課】

北上 鳴瀬 名取

緑豊かな県土と潤いのある生活環境を創造し、県民の緑化活動への積極的な参加を促進するため、31種類、計1,364本の緑化木及び植樹用資材を配布した。



3 水道水源特定保全地域の指定

流域の健全な水循環を保全するため、ふるさと宮城の水循環保全条例において、「山間部の水道水源地域のうち、その地域の良好な水循環の保全を図る上で特に重要と認められる区域」を指定できるとされている。

そこで流域の水循環の出発点である重要な水かん養機能（降水を土壌に浸透・保水させて、その後、時間をかけ河川へ水を供給する機能）を有しており、生態系が安定し、生命活動が盛んな天然又はそれに近い山間部の森林地域として、鳴瀬川流域は大和町、色麻町、加美町の一部を平成 22 年 2 月、北上川流域で栗原市、大崎市の一部を、名取川流域では仙台市、川崎町の一部を平成 24 年 2 月に指定している。

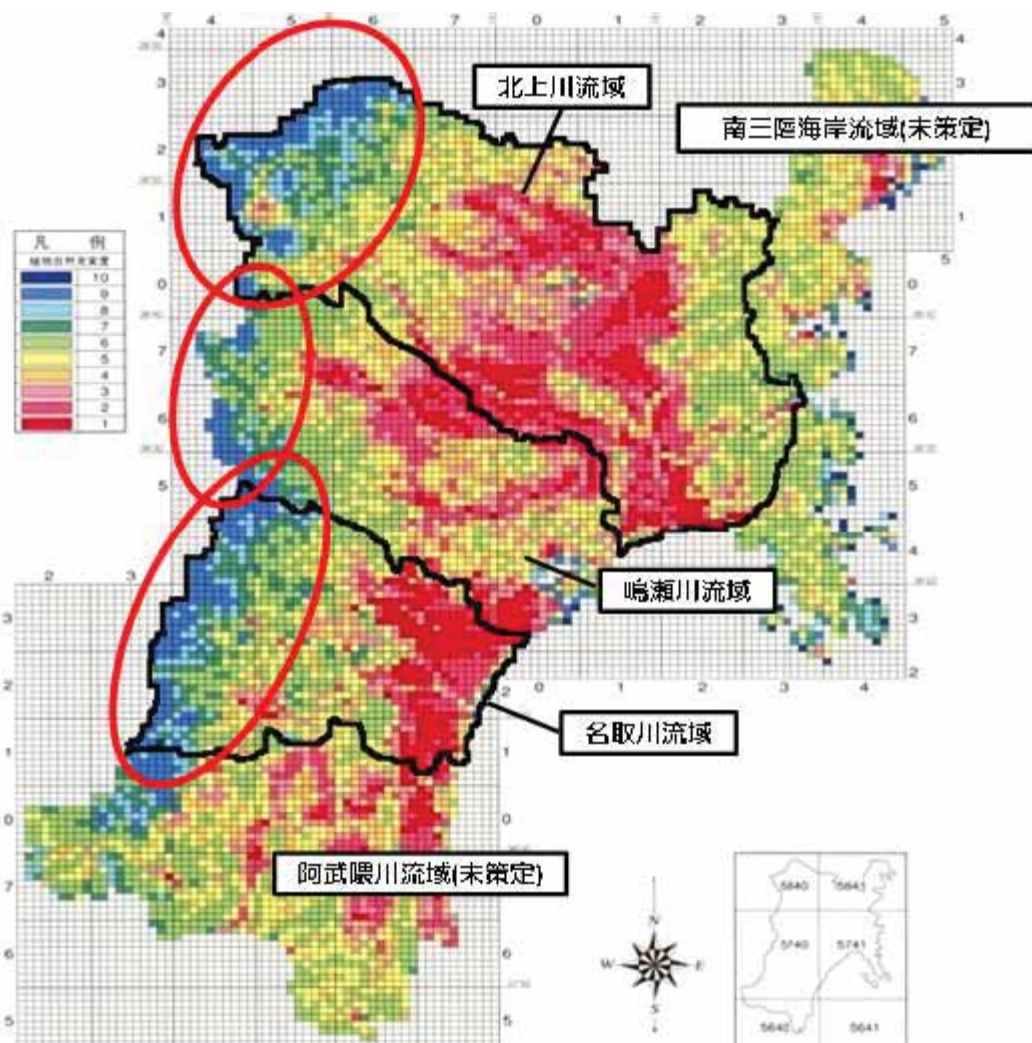


図 - 3 水道水源特定保全地域

- 3 流域の指定区域は、いずれも県西部の奥羽山脈付近に集中しており、指定区域の 70%以上は国有林である。
- 地域内で開発事業を実施する場合は、条例に基づく届出が必要となる場合がある。
- 詳細な区域は、県環境対策課のホームページを参照のこと。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/suidousuigen.html>

4 流域水循環計画推進会議の開催

流域の健全な水循環の保全を推進するためには、県民、民間団体、NPO法人、事業者、行政機関等の各主体が、それぞれの立場に応じた役割分担のもと、自主的・積極的かつ連携した水循環保全施策に取り組む必要がある。

そのため、平成26年度は各流域で活動している民間団体や行政機関等を参集し、推進会議を開催した。この会議では地球規模で環境問題に取り組む団体である、国際環境NGO F o E J a p a n (エフ・オー・イー・ジャパン) スタッフである佐々木勝教氏を講師に招き、ロシアタイガプログラム(ロシア沿海地方の森林生態系保全活動)、またロシアの森林・林業セクターの事業等について、講演いただいた。

さらに、NPO法人等の活動団体に流域での活動状況などを報告いただき、全員での意見交換を実施した。

5 管理指標による状況評価

流域水循環計画では、取組による水循環の健全性を把握するため、流域ごとに4つの要素に基づいて管理指標を設定し、定期的なモニタリングにより、管理指標の達成状況について点検することとしている。

平成26年度末現在の管理指標項目とそれぞれの流域の状況については、次のとおりであった。

(1) 北上川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」について、河川(BOD)の環境基準達成率は100%であり、湖沼(COD)の環境基準達成状況は依然として改善はみられない。海域(COD)の達成状況については、平成23年度は数値が一時的に好転したが、今年度は平年並みとなっている。

「豊かな流れ」については、管理指標である流出係数は土地利用面積を基に算出しているが、平成26年度値が現在公表されていないため空白となっている。

「安全な流れ」の河川整備率は、ほぼ横ばいの状況である。

「豊かな生態系」の水生生物保全水質環境基準達成状況は、100%である。

表 -5-(1) 北上川流域の管理指標の状況

課題の分類	管理指標	管理項目	モニタリング地点等	H21	H22	H23	H24	H25	H26
清らかな流れ	水質環境基準達成状況	BOD	環境基準点(河川)	100%	94%	100%	100%	94%	100%
		COD	環境基準点(湖沼)	0%	0%	0%	0%	0%	0%
			環境基準点(海域)	33%	50%	100%	50%	50%	50%
豊かな流れ	健全なかん養量	流出係数	流域市町村	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	-
安全な流れ	河川整備状況	河川整備率	管理区間河川	54%	53%	54%	54%	54%	54%
豊かな生態系	水生生物保全水質環境基準達成状況	全亜鉛	環境基準点(旧北上川、江合川、迫川)	-	-	(100%)	100%	100%	100%

表中の水生生物保全水質環境基準達成状況については、H23年値は参考値扱いとする。
 ※表中の健全なかん養量の流出係数については、毎年更新される市町村別利用区分土地利用面積を基に算定しているが、現在とりまとめ中であるため空白となっている。

(2) 鳴瀬川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」について、河川（BOD）の環境基準達成率は100%であり、湖沼（COD）の環境基準達成状況は依然として改善はみられない。海域（COD）の達成状況は昨年度と同様に、平年並みとなっている。

「豊かな流れ」については、鳴瀬川中流堰下流及び吉田川落合では正常流量を確保することができた。

「安全な流れ」の河川整備率については、平成21年度値から変化はなく、横ばいとなっている。

「豊かな生態系」の水生生物保全水質環境基準達成状況は100%であり、絶滅危惧種の生息状況については前年度と同様となっている。

表 -5- (2) 鳴瀬川流域の管理指標の状況

課題の分類	管理指標	管理項目	モニタリング地点等	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
清らかな流れ	水質環境基準達成状況	BOD	環境基準点(河川)	100%	100%	100%	100%	93%	93%	100%	100%
			環境基準点(湖沼)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		COD	環境基準点(海域)	33%	33%	33%	33%	60%	33%	33%	33%
豊かな流れ	河川流量(正常流量)の確保状況	湧水流量(m ³ /s)	鳴瀬川中流堰下流 正常流量(非かんがい期4.0m ³ /s)								
			吉田川落合 正常流量(かんがい期1.5m ³ /s)	1.57	1.33	1.54	1.40	1.80	1.98	1.57	1.50
安全な流れ	河川整備状況	河川整備率	管理区間河川	71%	72%	74%	74%	74%	74%	74%	74%
豊かな生態系	水生生物保全水質環境基準達成状況	全垂鉛	環境基準点(鳴瀬川, 吉田川)			(100%)	100%	100%	100%	100%	100%
			シナイモツゴ	7か所	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所	6か所	6か所
	絶滅危惧種の生息状況	生息地数	テツギョ	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	0か所	0か所
			ゼニタナゴ	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所

湧水流量: 年間の流況曲線による上位から355日目の流量

豊かな流れの観測データは、国土交通省吉田川落合観測所によるもので暦年のデータである。

表中のH26年の湧水流量は速報値(照査中)であるため、後日公表される確定値と異なる場合がある。

表中の水生生物保全水質環境基準達成状況については、H21年値は参考値扱いとする。

「」について、豊かな流れの観測データは参考扱いのデータとなっているが、正常流量を上回っていることが確認されている。

(3) 名取川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」について、河川（BOD）の環境基準達成率は100%であり、湖沼（COD）の環境基準達成状況は依然として改善はみられない。海域（COD）の達成状況は昨年度から変化はなかった。

「豊かな流れ」については、名取川名取橋及び広瀬川広瀬橋では、正常流量を確保することができた。

「安全な流れ」の河川整備率については、昨年度から微増している。

「豊かな生態系」の水生生物保全水質環境基準達成状況は、100%である。

表 -5- (3) 名取川流域の管理指標の状況

課題の分類	管理指標	管理項目	モニタリング地点等	H21	H22	H23	H24	H25	H26
清らかな流れ	水質環境基準達成状況	BOD	環境基準点(河川)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		COD	環境基準点(湖沼)	0%	0%	0%	0%	0%	0%
			環境基準点(海域)	83%	67%	83%	67%	67%	67%
豊かな流れ	河川流量(正常流量)の確保状況 正常流量(2.5m ³ /s(9~10月),2.0m ³ /s(11月~8月))	渇水流量(m ³ /s)	名取川 名取橋	2.53	1.48	2.11	1.79	欠測	5.30
			広瀬川 広瀬橋	2.20	1.99	1.10	1.29	0.04	2.36
安全な流れ	河川整備状況	河川整備率	管理区間河川	78%	79%	79%	79%	79%	81%
豊かな生態系	水生生物保全水質環境基準達成状況	全亜鉛	環境基準点(名取川, 広瀬川)	-	-	(100%)	100%	100%	100%

渇水流量: 年間の流況曲線による上位から355日目の流量

豊かな流れの観測データは、国土交通省名取川名取橋及び広瀬川広瀬橋によるもので歴年のデータである。

表中のH26年の渇水流量は速報値(照査中)であるため、後日公表される確定値と異なる場合がある。

表中の水生生物保全水質環境基準達成状況については、H23年値は参考値扱いとする。

III 資料

関係団体などの取組報告事例

表 関係団体報告一覧

資料番号	事業名	主体	清らかな流れ	豊かな流れ	安全な流れ	豊かな生態系	流域区分		
							北上	鳴瀬	名取
1	水生生物による水質調査	石巻市 ほか	○			○			
2	環境美化活動	日本製紙株式会社 石巻工場	○			○			
3	ふゆみずたんぼでの環境保全米栽培の実施	株式会社一ノ蔵 ほか	○				○		
4	平成26年度公共用水域水質調査	東松島市	○				○		
5	漁場環境保全推進事業(鳴瀬川における水質調査および生物相調査)	宮城県(水産技術総合センター)	○			○	○		
6	しちがはまクリーンサポートプログラム、巡回監視・回収	七ヶ浜町	○				○		
7	河川清掃	色麻町河川愛護会 ほか	○				○		
8	河川清掃	大衡村河川愛護会 ほか	○	○			○		
9	鳴瀬川堤防除草作業	大崎市 ほか	○			○	○		
10	釜房ダム周辺の清掃活動	特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかず会 ほか	○	○				○	
11	水源の森活動、工場周辺清掃活動、防風林育樹活動	キリンビール株式会社仙台工場 ほか	○			○		○	
12	「水源の森づくり」育樹祭	川崎町 ほか	○					○	
13	地域環境と生き物調査等の学習支援活動(仙台市南小泉小学校)	特定非営利活動法人 あぐりねっと21 ほか	○	○		○		○	
14	広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 ほか	○					○	
15	広瀬川で遊ぼう(親水イベント)	広瀬川で遊ぼう実行委員会 ほか	○			○		○	
16	作並かつば祭り(親水イベント)	作並かつば祭り実行委員会 ほか	○			○		○	
17	広瀬川1万人プロジェクトフォーラム～広瀬川で市民・企業・行政をつなごう～	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 ほか	○			○		○	
18	釜房ダム湖畔清掃・青下ダム周辺清掃	仙台市水道局 ほか	○			○		○	
19	名取川水系の良質な河川環境の保全に向けた取組	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会 ほか	○					○	
20	北上川水系及び鳴瀬川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組	北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会 ほか	○				○	○	
21	みやぎスマイルリバー・プログラム	スマイルサポーター(総称) ほか	○				○	○	
22	蘇る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)	宮城県(下水道課) ほか	○				○		
23	蘇る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)	宮城県(下水道課) ほか	○				○		
24	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)	宮城県(下水道課) ほか	○					○	
25	身近な水環境全国一斉調査ほか	特定非営利活動法人 宮城県河川環境研究会 ほか		○		○	○		
26	天水桶手づくり講座	仙台市 ほか		○				○	
27	森林保全整備事業等	宮城北部森林管理署		○		○	○		
28	森林保全整備事業等	宮城北部森林管理署		○		○	○		
29	伊豆沼・長沼の水環境保全活動	特定非営利活動法人 伊豆沼・長沼水環境ネットワーク ほか				○	○		
30	内川水土里の路ウォーク	水土里ネット大崎 ほか				○	○		
31	第三回県民参加の森林づくり植樹祭	みやぎ森林づくり支援センター ほか				○	○		
32	伊豆沼・内沼自然再生事業	宮城県(自然保護課) ほか				○	○		
33	鬼首小学校・鳴子小学校きつね森体験／あつまれ鳴子ダム	特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会				○	○		
34	平成26年度国指定伊豆沼鳥獣保護区伊豆沼外来魚駆除事業	環境省東北地方環境事務所				○	○		
35	北上川水系河川水辺現地調査(鳥類調査)	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所				○	○		
36	下志田地区生きもの調査	志田谷地地域環境保全組合 ほか				○		○	
37	「増田川流域マップ」プロジェクト	増田川流域マップ制作実行委員会				○		○	
38	漁場環境保全推進事業(広瀬川におけるアユの遡上量調査)	宮城県(水産技術総合センター) ほか				○		○	
39	名取の海岸再生を目指す「海岸のお花畑づくり」事業	特定非営利活動法人 名取ハマボウフウの会				○		○	
40	水生生物調査	仙台市				○		○	
41	総合学習	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 ほか				○		○	
42	名取川水系河川水辺現地調査(底生動物)	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所				○		○	
43	森林ふれあい教室、林業体験等	宮城北部森林管理署 ほか				○	○		
44	森林ふれあい教室、林業体験等	宮城北部森林管理署 ほか				○	○		
45	みやぎの里山林協働再生支援事業	宮城県(自然保護課) ほか				○	○	○	
46	百万本植樹事業	宮城県(自然保護課)				○	○	○	



団体名称	石巻市生活環境部環境課
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	水生生物による水質調査
取組の目的	水質保全及び水質浄化意識の普及啓発を図ること。
実施場所	皿貝川
事業期間	平成26年7月29日
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>市内の幼児、小・中学生を対象として20名が参加し、皿貝川の水辺に生息する水生生物を調査し、水質について学んだ。</p>
連携団体等	NPO法人ひたかみ水の里・石巻市環境保全リーダー
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>水生生物の採集風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採集した水生生物</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水生生物の調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>班ごとに調査結果発表</p> </div> </div>	
取組の点検	採集した水生生物の結果から、皿貝川の水質はきれいな水で、2年前の平成24年度に行った調査時と比べると、水質が改善されていることが分かった。
今後の取組目標	今後も継続的に活動していく。

報告団体等 石巻市

団体名称	日本製紙株式会社 石巻工場
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	環境美化活動
取組の目的	周辺地域の美化
実施場所	工場周辺(石巻湾周辺)
事業期間	H26年6月5日
取組の概要	【平成26年度の主な取組】 工場周辺(石巻湾周辺)の清掃活動を行った。
連携団体等	
取組状況の結果・写真・図表等	
	
取組の点検	震災後、空き地となっているため、不法投棄廃棄物が多く見受けられた。
今後の取組目標	今後も継続して環境美化活動を行う。

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	(株)一ノ蔵
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	ふゆみずたんぼでの環境保全米栽培の実施
取組の目的	農薬や化学肥料に極力たよらない酒米栽培方法の確立
実施場所	一ノ蔵圃場
事業期間	通年
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>①環境保全型の酒米栽培</p> <p>②鳴瀬川からの用水によるふゆみず田んぼの実施</p> <p>③NPO法人環境保全米ネットワーク、トンボの羽化殻調査実施</p>
連携団体等	NPO法人環境保全米ネットワーク
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の実施 (トンボ羽化殻調査)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昨年度の冬もたくさんの渡り鳥が飛来しました(写真は平成25年のもの)</p> </div> </div>	
取組の点検	活動を広め、多くの仲間を増やす活動にする
今後の取組目標	持続発展的な活動の継続

報告団体等 (株)一ノ蔵

団体名称	東松島市																																																															
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域																																																															
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系																																																															
活動事業名	平成26年度公共用水域水質調査																																																															
取組の目的	市内の公共用水域における水質の現状把握																																																															
実施場所	鳴瀬川、吉田川、東名運河、北上運河																																																															
事業期間	通年																																																															
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>8地点で水質調査(BOD、透視度、pH、SS、DO、大腸菌群など)を実施</p>																																																															
連携団体等																																																																
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p><BOD> 河川6地点は、河川環境基準B類型(3mg/L以下)を満足した。 北上運河、東名運河は河川環境基準AA類型(1mg/L以下)に相当する程度の値であった。</p> <div data-bbox="293 1240 1228 1675" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>BODの経年変化 (mg/L)</caption> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳴瀬川</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬川河口</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬川大橋上流</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬川大橋下流</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>吉田川</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>吉田川下流ひびき工業団地前</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>北上運河</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>東名運河</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>4.5</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> </div>		地点	H21	H22	H23	H24	H25	H26	鳴瀬川	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	鳴瀬川河口	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	0.8	鳴瀬川大橋上流	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	鳴瀬川大橋下流	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	吉田川	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	吉田川下流ひびき工業団地前	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	北上運河	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	0.8	東名運河	0.8	0.8	4.5	0.8	0.8	0.8
地点	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																																										
鳴瀬川	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0																																																										
鳴瀬川河口	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	0.8																																																										
鳴瀬川大橋上流	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0																																																										
鳴瀬川大橋下流	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0																																																										
吉田川	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0																																																										
吉田川下流ひびき工業団地前	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0																																																										
北上運河	0.8	0.8	1.0	0.8	0.8	0.8																																																										
東名運河	0.8	0.8	4.5	0.8	0.8	0.8																																																										
取組の点検	8地点すべてにおいて前年度と同程度の値であった。東名運河はH23で値が大きく上昇したが、現在はH22以前と同程度の値へと回復している。																																																															
今後の取組目標	継続的な水質監視の実施																																																															

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	宮城県水産技術総合センター 内水面水産試験場
対象流域	北上川流域・ 鳴瀬川流域 ・名取川流域
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	漁場環境保全推進事業(鳴瀬川における水質調査および生物相調査)
取組の目的	鳴瀬川の河川環境を把握するために、水質と生物相を調査し、モニタリングを行う。
実施場所	鳴瀬川(高倉橋付近・鳴瀬橋付近・鹿原橋付近の3地点)
事業期間	平成26年の偶数月(6月・10月は生物相調査と水質調査・それ以外の月は水質調査のみ)
取組の概要	【平成26年度の主な取組】 実施期間内に水質調査3項目と生物相調査を行った。採捕した生物は魚類、付着藻類、底生生物である。
連携団体等	鳴瀬吉田川漁業協同組合

取組状況の結果・写真・図表等

	水温(℃)			pH			DO(mg/L)		
	St.1	St.2	St.3	St.1	St.2	St.3	St.1	St.2	St.3
4月	8.9	9.5	9.3	6	6.5	6.5-7.0	11.5	12.0	12.0
6月	19.0	21.6	21.0	7.0	7.0	7.0	9.0	8.8	7.9
8月	20.0	22.7	22.1	7.0	7.0	7.0	8.9	8.6	7.9
10月	9.6	10.1	9.2	7.0	6.5	6.5	10.0	10.0	10.0
12月	1.3	2.4	2.1	7.0	7.0	7.3	5.0	6.0	4.5
2月	4.0	4.8	4.6	7.0	7.0	7.0	10.3	12.0	12.7

表1 鳴瀬川の各調査点の水質

※ St.1:鹿原橋
St.2:鳴瀬橋
St.3:高倉橋(2002年以降。2002年以前は桑折江)を表す。


	年 月	1997		1998		1999		2000		2001		2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011		2012		2013		2014	
		7	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10		
サケ科	ヤマメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	イワナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コイ科	ウグイ・マルタウグイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	カマツカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	オイカワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ビワヒガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ニゴイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	アブラハヤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	タイリクバラタナゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	モツゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ゲンゴロウフナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ギンブナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
タモロコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
モロコ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
タナゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
キョウリウ科	アユ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	ワカサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ボラ科	ボラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
カジカ科	カジカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ドジョウ科	ドジョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	シマドジョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サワフツコ科	オオクチバス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ハゼ科	オオヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	シマヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	トウヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ジュズカケハゼ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヨシノボリ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	マハゼ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ウキゴリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヌマチチブ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
種数		12	8	10	10	5	14	8	10	13	10	10	10	15	12	9	10	12	10	7	7	8	8	10	9	11	12	9	8	8	8	8	9	10	9	5	

表2 鳴瀬川の魚類相調査の結果

取組の点検	概ね良好な河川環境が保たれていると考えられた。
今後の取組目標	長期的な河川環境の変化が把握できるよう、今後もモニタリングを継続する。

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	七ヶ浜町
対象流域	北上川流域・ 鳴瀬川流域 ・名取川流域
取組分類	清らかな流れ 豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	①しちがはまクリーンサポートプログラム ②巡回監視・回収
取組の目的	①②海岸清掃等ゴミ拾い活動を行い、海浜を美しく保つとともに、住民来訪者への意識啓発を図る。 ②ゴミがゴミを呼ぶ状況を作らないように、なるべく早く撤去する。
実施場所	①②とも町内各海岸及び付近一帯。
事業期間	①②とも海水浴シーズンを含む7・8月を中心として通年
取組の概要	【平成26年度の主な取組】 ①26年度末時点で25団体の登録があり、のべ1,300名の参加により、ゴミ袋650袋分を回収処分している。
連携団体等	
取組状況の結果・写真・図表等	
	
取組の点検	海浜清掃参加者は増加しているが、海浜利用者によるゴミの放置が目立つ状況である。
今後の取組目標	海浜利用者のゴミ持ち帰りの意識を高める。

報告団体等 七ヶ浜町

鳴瀬川流域水循環計画取組報告書


平成26年度

事業主体	色麻町河川愛護会					
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系					
事業名	河川清掃					
取組の目的	河川の整備を行い天災を防止し、地域住民の共同の福祉を増進するため。					
実施場所	鳴瀬川水系(花川、深川、保野川、長谷川、河童川など)					
事業期間	平成26年6月22日～平成26年7月10日					
取組の概要	・雑草木の刈り払い					
事業費	平成26年度					
	400,000円					
連携団体等	色麻町					
取組状況の結果・写真・図表等						
<p>花 川</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>刈り払い前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>刈り払い後</p>  </div> </div>						
取組の点検	地域住民の高齢化により参加者が減少になることが考えられる。					
今後の取組目標	継続していきたい。					

報告団体等 色麻町

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	大衡村河川愛護会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	河川清掃
取組の目的	良好な河川の維持管理を実施し、天災を防止し、地域住民の福祉の向上に寄与する
実施場所	鳴瀬川水系(善川、埋川、楳田川、沓掛川、奥田川、荒屋敷川など)
事業期間	平成26年7月1日～平成27年3月31日
取組の概要	【平成26年度の主な取組】 雑草木の刈り払い
連携団体等	大衡村
取組状況の結果・写真・図表等	
	
取組の点検	参加者の高齢化により、事業内容の縮小が考えられる
今後の取組目標	事業継続

報告団体等 大衡村

流域水循環計画取組状況

平成26年度

団体名称	大崎市(松山総合支所 地域整備課)
対象流域	北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	鳴瀬川堤防除草作業
取組の目的	堤防及び隣接施設「下伊場野水辺の楽校」に繁茂した草を除草し、堤防の保全、河川巡視の障害除去及び地域の環境維持に寄与する。
実施場所	鳴瀬川 大崎市下伊場野地区
事業期間	平成11年度～
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械除草 20,000㎡ ・集草処分 20,000㎡ ・散在塵芥処理 20,000㎡ ・河川愛護活動
連携団体等	国土交通省、下伊場野水辺の楽校運営協議会
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">小まめな除草作業によって害獣・害虫の発生が抑制される事により、子どもたちが安心して自然学習を体験でき、誰もが気軽に川辺散策できる空間が維持されている。また、隣接小学校の授業の一環として、水質調査・水生生物調査・カヌー体験等が行われたりもしている。</p>	
取組の点検	東日本大震災により被災した堤体も復旧し、現在は問題も無く取り組まれている。
今後の取組目標	今後も継続して、誰もが安心して利用できる施設の維持管理をしていくよう事業を実施する。

報告団体等

大崎市

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会
対象流域	名取川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 安全な流れ
活動事業名	釜房ダム周辺の清掃活動
取組の目的	湖水の水質保全と啓蒙活動を目的としている
実施場所	宮城県釜房ダム周辺
事業期間	平成26年7月6日(日)
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>以前は菜種を栽培して窒素の減少に努め水質浄化を行っていたが、震災後は放射能の影響を考慮して、ダム周辺の清掃活動のみとなった。また、カヌー体験も実施して水質について考えて頂く取り組みも行っていたが、現在は実施していない</p>
連携団体等	川崎町社会福祉協議会・東北大学漕艇部・公明党川崎支部
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ゴミの分別作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>集まったごみ</p> </div> </div>	
取組の点検	以前は不法投棄と思われる粗大ごみが大量にあったが、ペットボトルや空き缶・たばこの吸い殻等などのゴミは減少にはなっていない
今後の取組目標	従来通り出来る範囲で活動を継続して行く

報告団体等 川崎町の資源をいかす会

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	キリンビール株式会社 仙台工場	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域	
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系	
活動事業名	1.水源の森活動 2.工場周辺清掃活動 3.防風林育樹活動	
取組の目的	1. 水源地の環境保全 2. 工場周辺の自然保護 3. 震災で被災した宮城県沿岸地区の防風林再生	
実施場所	1. 北蔵王山麓国有林 2. 工場周辺(仙台市宮城野区港) 3. 名取市下増田	
事業期間	1. 2007年9月～ 2. 1983年～ 3. 2013年4月～	
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>1. 工場の水源地での森林保全活動として、北蔵王山麓国有林(川崎町)の下草刈り、枝打ち活動を行いました。</p> <p>2. 工場周辺の清掃活動を毎月定期的実施し、環境負荷の軽減に努めました。</p> <p>3. 東日本大震災時の津波により壊滅的な被害を受けた国有林を再生するため、黒松等を植林するボランティア活動を実施しました。</p>	
連携団体等	3. 宮城森の会、東北森林管理局	
取組状況の結果・写真・図表等		
1. 水源の森活動		
 		
3. 防風林育樹活動		
  		
取組の点検	平成26年度は計画通りに実施しました。	
今後の取組目標	次年度以降も継続的に取り組んでいきますが、H28年度より水源地の環境保全活動の内容を変更する予定です。	

報告団体等 キリンビール株式会社 仙台工場

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	川崎町
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	「水源の森づくり」育樹祭
取組の目的	水源の町として育樹祭を通し森林機能への理解を深め森林育成の意識高揚を目指す
実施場所	宮城県柴田郡川崎町大字前川字再拝山
事業期間	平成17年～
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>町内の町有林において森林・林業に関するイベントを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○植林地での枝打ち作業 ○間伐体験 ○森林の機能や林業に関する学習会 ○木工体験
連携団体等	川崎森林組合 宮城県大河原地方振興事務所 キンビール株式会社 野上みどりの少年団 NPO法人川崎町の資源を生かす会 東芝グループ 釜房ダム水源地域ビジョン推進委員会 NPO法人川崎の森を育む家づくりネットワーク
取組状況の結果・写真・図表等	
  <p style="text-align: center;">枝打ち体験の様子</p>   <p style="text-align: center;">木工体験の様子</p>	
取組の点検	体験コーナーの拡充を目指す。枝打ち等に適した町有林の選定
今後の取組目標	参加者の増員と内容の充実を図る。

報告団体等 川崎町農林課林業係

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	特定非営利活動法人 あぐりねっと21
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	地域環境と生き物調査等の学習支援活動(仙台市南小泉小学校)
取組の目的	小学校の総合学習支援
実施場所	広瀬川愛宕堰～七郷堰～大沼
事業期間	平成26年7月14日(月), 平成26年8月27日(水)
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南小泉小学校の5年生76名、引率教師、保護者、計約100名を対象に、七郷堰や愛宕堰に関わる歴史や活用方法についての学習。 ・七郷堰の下流域において、農業用水の水質や、地域に生息する生き物、野鳥、植物等について調査。
連携団体名	宮城県内水面試験場、南小泉小学校保護者の皆さん、宮城県仙台地方振興事務所農林農村整備部、水土里ネットみやぎ、水土里ネットひがし、(株)復建技術コンサルタント、(株)サトー技建、南小泉地域支援友の会、NPO法人あぐりねっと21
取組状況の結果・写真・図表等	
 <p>七郷堰幹線返送ポンプ場の説明を聞いている様子</p>	
 <p>川に生息している魚の説明を受けている様子</p>	
 <p>実際に魚捕りをしている様子</p>	
 <p>採取した植物について説明を受けている様子</p>	
取組の点検	愛宕堰や七郷堰の観察、七郷堰の下流に生息する生き物、水質、植物等の調査をはじめとした環境調査を、事故なく実施することができた。
今後の取組目標	小学校から依頼があれば、今後とも継続的に活動していきたい。

報告団体等： 特定非営利活動法人あぐりねっと21

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会			
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域(+広瀬川)			
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系			
活動事業名	広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)			
取組の目的	杜の都・仙台市のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするための活動を行う。			
実施場所	広瀬川流域 13会場			
事業期間	一斉清掃: 平成26年4月26日(土)10時~12時, 平成26年9月27日(土)10時~12時,			
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>杜の都・仙台市のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするために、100万都市仙台1%にあたる1万人をキーワードに、市民・企業・行政が連携して、春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を行う。市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられている。</p> <p>・一斉清掃 春の一斉清掃(平成26年4月26日実施)、秋の一斉清掃(平成26年9月27日実施) (平成25年度に累積延べ参加者数10,000人を達成)</p>			
連携団体等	実行委員会に加入している地元企業、および、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、環境省東北地方環境事務所、宮城県、名取市、仙台市(建設局河川課)など			
取組状況の結果・写真・図表等				
	春	4会場	842人	272袋
	秋	13会場	1603人	456袋
<p>13会場で合計2454人が参加し、ゴミ袋728個分のゴミを回収した。清掃会場で参加者が楽しめる仕組みとしてフォトコンテストを同時開催し、入選者には清掃等で使える火バサミを贈呈している。</p>				
    				
取組の点検	会場のゴミの量は改善されてきている。参加人数に対して拾うゴミが少ないため、活動の幅、或いは領域を広げる必要がある。各会場ごとに、地域の特色に合わせた運営や対応が見られつつある。			
今後の取組目標	平成26年度を上回る参加者を目指す。活動の幅の拡大について、検討する。			

報告団体等 仙台市建設局河川課

団体名称	広瀬川で遊ぼう実行委員会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域 名取川流域(+広瀬川)
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	広瀬川で遊ぼう(親水イベント)
取組の目的	広瀬川下流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、河川環境に対する関心の高揚を図る。
実施場所	広瀬川宮沢緑地
事業期間	平成26年5月3日～5日 10時～15時
取組の概要	【平成26年度の主な取組】 市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられている事業である。 手漕ぎボート、Eボート、ペットボトルロケット作り、鯉のぼり、広瀬川水族館、フリーマーケット、屋台、石ころアート、シャボン玉、ダンボールで遊ぼうなど
連携団体等	地元町内会、NPO法人広瀬川ボートくらぶ、宮城県、仙台市など
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>参加者数： 3,800人／3日間 協働団体数： 9団体</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>鯉のぼりの設置</p>  <p>ペットボトルロケット作り</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>手漕ぎボート</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>Eボート</p>  <p>ダンボールで遊ぼう</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
取組の点検	H25年度課題となっていた地元町内会・商店会などとの連携について、H26年度は協働の仕組みづくりの助走期間と位置づけ、宮沢緑地周辺で活動する様々な団体に協力を呼びかけ、役割を分担して実施した。
今後の取組目標	地元企業・町内会などを中心とした実行委員会を組織し、事業の継続性と地域貢献に配慮する。

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	作並かつぱ祭り実行委員会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域(+広瀬川)
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	作並かつぱ祭り(親水イベント)
取組の目的	広瀬川上流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、子どもたちに川の魅力と危険性を伝え、河川環境に対する関心の高揚を図る。
実施場所	広瀬川支流 新川
事業期間	平成26年7月26日(土)10時～15時
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>ニッカウキスキー株式会社敷地前の河川敷地で、河川上流域の魅力と特色を活かしたイベントを実施した。市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられている事業である。</p> <p>1)川遊び 2)ニジマスつかみどり 3)スイカ割り 4)石ころアート 5)模擬店 など</p>
連携団体等	実行委員会に加入している地元企業、団体、および、宮城県、仙台市など
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>参加者数： 1, 140人(過去最高) 協働団体数： 25団体</p>	
<p>川遊び</p> 	
<p>ニジマスつかみ取り</p> 	
<p>石ころアート</p> 	
<p>スイカ割り</p> 	
<p>広瀬川水族館</p> 	
取組の点検	想定以上の来場があり、会場や駐車場の収容数を大幅に超えてしまった。地域のイベントとして定着してきたという結果ではあるものの、来場者の安全確保の観点からみても、参加者数の調整については課題である。
今後の取組目標	事前申込制の導入などにより、来場者数を事前把握し、催し物の質の向上を図るとともに、来場者の安全確保につとめる。

報告団体等 仙台市建設局河川課

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域 名取川流域(+広瀬川)	
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系	
活動事業名	広瀬川1万人プロジェクトフォーラム ～広瀬川で市民・企業・行政をつなごう～	
取組の目的	市民・企業・行政の活動事例を通して学びあいながら、今後の活動の幅を広げるべく、それぞれの立場で実施できることを考える機会・場を提供する。	
実施場所	KKRホテル仙台	
事業期間	平成27年1月28日	
取組の概要	【平成26年度の主な取組】 宮城県河川課長 金子氏より、広瀬川の河川整備計画について基調講演をいただいたほか、企業、NPO、行政がそれぞれの立場から、取り組み状況の紹介や話題提供を行った。	
連携団体等	仙台市	
取組状況の結果・写真・図表等	<p>参加者数：81名</p> <p>基調講演 「広瀬川の河川整備計画」 宮城県河川課長 金子 潤氏</p> <p>話題提供 「マッサンの夢～竹鶴政孝のウキスキーづくり～」 ニッカウキスキー株式会社仙台工場総務部長 高橋 智英 氏</p> <p>「川ゴミから地球が見えてくる ～調べるゴミ拾いで参加者に学びを～」 NPO法人荒川クリーンエイドフォーラム事務局長 伊藤 浩子 氏</p> <p>「仙台市における広瀬川～広瀬川創生プラン～」 仙台市河川課長 安田敏弘</p> <p>パネルディスカッション 交流会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
取組の点検	市民・企業・行政がそれぞれの立場で広瀬川を通してできることについて、お互いに学びあい考え合うことができた。	
今後の取組目標	NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムの伊藤事務局長からは、川の清掃活動を行う、企業が主体のNPO法人という立場からの貴重なお話を伺うことができた。同様の立場である1万人プロジェクトの今後の展開に活かしていきたい。	

報告団体等 仙台市建設局河川課

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	仙台市水道局	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	釜房ダム湖畔清掃・青下ダム周辺清掃	
取組の目的	市民との協働により水源保全活動を実施するもの	
実施場所	釜房ダム(柴田郡川崎町)および青下ダム(仙台市青葉区熊ヶ根)周辺	
事業期間	釜房ダム湖畔清掃:平成26年10月4日、青下ダム周辺清掃:平成26年11月16日	
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜房ダム周辺のごみ拾いを実施 青下ダム周辺のごみ拾いを実施 	
連携団体等	釜房ダム湖畔清掃:川崎町、釜房ダム管理所 青下ダム周辺清掃:大手門町内会	
取組状況の結果・写真・図表等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>清掃の様子(釜房ダム湖畔清掃)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>清掃の様子(青下ダム周辺清掃)</p>  </div> </div>		
取組の点検	参加者数(平成26年度実績) 釜房ダム湖畔清掃:69名 青下ダム周辺清掃:43名	
今後の取組目標	より多くの市民に参加いただける水源保全活動を実施するほか、環境関連の団体などとの協働による事業の実施を目指す。	

報告団体等 仙台市水道局総務課

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会			
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域			
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系			
活動事業名	名取川水系の良質な河川環境の保全に向けた取組			
取組の目的	名取川水系の河川・湖沼及び水路について河川水質汚濁対策及び河川環境の保全に関する連絡調整を図ることを目的とする。			
実施場所	名取川流域			
事業期間	昭和48年6月～			
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質汚濁防止対策のための連絡調整 ・水質事故に備えた現地対応訓練の実施 ・河川ゴミ対策及び水質汚濁対策に関する啓発活動 			
連携団体等	国土交通省、経済産業省、宮城県、流域内自治体、流域内消防本部			
取組状況の結果・写真・図表等				
<p>【取組内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 協議会開催 2. 現地対応訓練 (オイルフェンス設置訓練) 3. 新聞広報 (油もれ注意喚起) 4. 河川一斉清掃 	 <p style="text-align: center;">1</p>	 <p style="text-align: center;">2</p>	 <p style="text-align: center;">3</p>	 <p style="text-align: center;">4</p>
取組の点検	平成26年1月～12月の水質事故件数は4件と、例年に比べて減少傾向にあるが、継続的な取組が必要である。			
今後の取組目標	河川や湖沼等の水質汚濁対策の推進や環境保全、水質改善に関する連絡調整に努める。			

報告団体等 東北地方整備局

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会	
対象流域	(北上川流域)・(鳴瀬川流域)・名取川流域	
取組分類	(清らかな流れ)・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	北上川水系及び鳴瀬川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組	
取組の目的	河川・湖沼および水路等の河川水質汚濁対策および河川環境の保全に関する連絡調整を図る。	
実施場所	北上川流域及び鳴瀬川流域	
事業期間	北上川水系:昭和50年度(設立年度)～ 鳴瀬川水系:昭和54年度(設立年度)～	
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質汚濁防止対策のための連絡調整 ・水質事故に備えた現地対応訓練の実施 ・河川ゴミ対策および水質汚濁防止に関する啓発活動 	
連携団体等	国土交通省、宮城県、流域内市町村 他	
取組状況の結果・写真・図表等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>油流出事故に備えたオイルフェンス設置訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水質事故防止啓発チラシ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水質事故実務担当者意見交換会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「川をきれいに」児童図画・ポスター入選作品展示</p> </div> </div>	
取組の点検	平成26年1月～12月の水質事故件数は、23件(北上川水系17件、鳴瀬川水系6件)と、昨年度35件(北上川水系24件、鳴瀬川水系11件)に比べ減少しているが、継続的な取り組みが必要である。	
今後の取組目標	今後も、河川や湖沼等の水質汚濁対策の推進や環境保全に関する連絡調整に努めていく。	

報告団体等 東北地方整備局

流域水循環計画取組状況


平成26年度実施分

団体名称	スマイルサポーター(総称)																
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域																
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系																
活動事業名	みやぎスマイルリバー・プログラム																
取組の目的	県管理河川におけるボランティア活動を支援し、ボランティア活動の活性化及び河川に関する地域環境の維持向上を通して、住民参加のまちづくりを図ること																
実施場所	県が管理する一級河川及び二級河川																
事業期間	平成15年4月1日～(継続中)																
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>以下の要件を満たす場合に、管轄する土木事務所長が認定し、団体名を表示した看板の設置及び活動に必要な物品の支給を行っている(希望する場合)。また、活動中の事故等に備えて傷害保険に加入している。</p> <p><要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動人数:5人以上 ○活動構成:地域住民, 企業, 市民団体, 学校等 ○活動規模:延長100m以上 ○活動頻度:年2回以上 																
連携団体等	関係市町村																
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>各流域におけるスマイルサポーターの認定・活動状況については下記のとおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度末 認定団体数</th> <th>うち平成26年度 新規認定団体数</th> <th>主な活動区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北上川流域</td> <td>42</td> <td>3</td> <td>迫川、北北上運河</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬川流域</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>鳴瀬川、砂押川</td> </tr> <tr> <td>名取川流域</td> <td>52</td> <td>8</td> <td>広瀬川、七北田川</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">北上川水系迫川における清掃・除草活動状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			平成26年度末 認定団体数	うち平成26年度 新規認定団体数	主な活動区域	北上川流域	42	3	迫川、北北上運河	鳴瀬川流域	6	0	鳴瀬川、砂押川	名取川流域	52	8	広瀬川、七北田川
	平成26年度末 認定団体数	うち平成26年度 新規認定団体数	主な活動区域														
北上川流域	42	3	迫川、北北上運河														
鳴瀬川流域	6	0	鳴瀬川、砂押川														
名取川流域	52	8	広瀬川、七北田川														
取組の点検	スマイルサポーターについては認定団体が増加しており、活動延長も増加している。																
今後の取組目標	引続き登録団体が増加するように周知活動等を実施していく。																

報告団体等 宮城県土木部河川課

団体名称	宮城県土木部下水道課							
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域							
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系							
活動事業名	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)							
取組の目的	汚水処理人口普及率の向上							
実施場所	北上川流域を構成する全市町村							
事業期間	平成7年度～平成32年度							
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>県民が快適な生活を営むことができるよう、排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させると共に、良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ、循環型の豊かな水環境を形成しようとするもの。</p> <p>長期的な視点に立ってより持続的な汚水処理システムの再構築を目指すため、平成22年に改定した生活排水処理基本構想の見直し作業に着手した。</p>							
連携団体等	関係市町村 整備済区域に居住する県民							
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>◎管理指標の経過</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H32目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚水処理人口普及率</td> <td>89.5%</td> <td>94.5%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>北上川下流流域下水道 石巻浄化センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>北上川下流東部流域下水道 石巻東部浄化センター</p> </div> </div>				H26実績	H32目標	汚水処理人口普及率	89.5%	94.5%
	H26実績	H32目標						
汚水処理人口普及率	89.5%	94.5%						
取組の点検	目標に向けて着実に処理人口普及率が向上している。							
今後の取組目標	生活排水処理基本構想はH27年度末に改訂予定で、変化する社会情勢等を勘案し、汚水処理施設の役割分担を踏まえた上で、汚水処理施設の一層の効率的な早期整備を目指す。							

団体名称	宮城県土木部下水道課							
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域							
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系							
活動事業名	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)							
取組の目的	汚水処理人口普及率の向上							
実施場所	鳴瀬川流域を構成する全市町村							
事業期間	平成7年度～平成32年度							
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>県民が快適な生活を営むことができるよう、排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させると共に、良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ、循環型の豊かな水環境を形成しようとするもの。</p> <p>長期的な視点に立ってより持続的な汚水処理システムの再構築を目指すため、平成22年に改定した生活排水処理基本構想の見直し作業に着手した。</p>							
連携団体等	関係市町村 整備済区域に居住する県民							
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>◎管理指標の経過</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H32目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚水処理人口普及率</td> <td>89.5%</td> <td>94.5%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>鳴瀬川流域下水道 鹿島台浄化センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>吉田川流域下水道 大和浄化センター</p> </div> </div>				H26実績	H32目標	汚水処理人口普及率	89.5%	94.5%
	H26実績	H32目標						
汚水処理人口普及率	89.5%	94.5%						
取組の点検	目標に向けて着実に処理人口普及率が向上している。							
今後の取組目標	生活排水処理基本構想はH27年度末に改訂予定で、変化する社会情勢等を勘案し、汚水処理施設の役割分担を踏まえた上で、汚水処理施設の一層の効率的な早期整備を目指す。							


団体名称	宮城県土木部下水道課							
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域							
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系							
活動事業名	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)							
取組の目的	汚水処理人口普及率の向上							
実施場所	名取川流域を構成する全市町村							
事業期間	平成7年度～平成32年度							
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>県民が快適な生活を営むことができるよう、排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させると共に、良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ、循環型の豊かな水環境を形成しようとするもの。</p> <p>長期的な視点に立ってより持続的な汚水処理システムの再構築を目指すため、平成22年に改定した生活排水処理基本構想の見直し作業に着手した。</p>							
連携団体等	関係市町村 整備済区域に居住する県民							
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>◎管理指標の経過</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26実績</th> <th>H32目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚水処理人口普及率</td> <td>89.5%</td> <td>94.5%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>仙塩流域下水道 仙塩浄化センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>阿武隈川下流域下水道 県南浄化センター</p> </div> </div>				H26実績	H32目標	汚水処理人口普及率	89.5%	94.5%
	H26実績	H32目標						
汚水処理人口普及率	89.5%	94.5%						
取組の点検	目標に向けて着実に処理人口普及率が向上している。							
今後の取組目標	生活排水処理基本構想はH27年度末に改訂予定で、変化する社会情勢等を勘案し、汚水処理施設の役割分担を踏まえた上で、汚水処理施設の一層の効率的な早期整備を目指す。							

団体名称	NPO法人 宮城県河川環境研究会	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	身近な水環境全国一斉調査他	
取組の目的	水質調査を通してマップ作成へ情報提供等	
実施場所	江合川中流～下流域	
事業期間	平成26年6月7日～27年3月25日	延べ120名
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】(上記事業の他)</p> <p>1 鳴瀬小学校の生徒を対象に総合学習支援を行った。(鳴瀬川の河川環境について学んだ)</p> <p>2 同生徒を対象に総合学習の一環として生き物調査を行った。</p> <p>3 角田市親子自然観察体験学習(高倉川・上流域)として生き物調査等を行った。</p> <p>4 研修会開催(ロシア紀行・海外の研究機関の情報提供)した。</p> <p>対象者:鳴瀬小学校, 角田市教育委員会, 企業, 研究会員ほか</p>	
連携団体等	宮城県河川課, 環境対策課, 大河原土木事務所, 内水面漁協, 民間企業	
取組状況の結果・写真・図表等		
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>江合川河川環境調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鳴瀬小学校総合学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>野外生き物調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>親子自然観察学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パックテストに取り組む</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>研修会風景</p> </div> </div>		
取組の点検	総合学習を通し自然環境保全等に関する意識啓蒙が図られた。 河川環境調査等により参加者の意識の向上が図られた。	
今後の取組目標	今後共, 県内各河川環境状況調査等を継続的に行うと共に研修会等を通し生態系保全に努めたい。	

団体名称	仙台市環境局環境対策課	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域	
取組分類	清らかな流れ・ 豊かな流れ ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	天水桶手づくり講座	
取組の目的	天水桶作りを通して天水桶の構造や原理を知っていただき、天水桶の普及を図り、水環境を健全に保つことの大切さについて理解を深めていただく。	
実施場所	七北田公園都市緑化ホール	
事業期間	平成26年7月5日(土)10時～12時半	
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>平成23年度からは、ウイスキー樽を用いた仙台天水桶に替えて、大型ゴミ箱等の身近な材料を利用して天水桶を作製していただくことになった。</p> <p>(1)講演 10:00～11:00「天水桶で繋ぐ住民の絆」講師:福住町内会 菅原 康雄会長 (2)手づくり講座 11:00～12:30 ①作業の説明 ②作業開始(6グループに分かれて実施) ③作製した天水桶の抽選会</p>	
連携団体等	仙台リバーズネット・梅田川	
取組状況の結果・写真・図表等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>福住町での天水桶利用事例の紹介</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天水桶手づくり作業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天水桶(完成品)</p> </div> </div> <p>申込者数:112名(抽選で参加者決定)、参加者数:47名 参加者の中から抽選で、天水桶(完成品)8台をお持ち帰りいただいた。</p> <p>感想(参加者アンケートによる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で天水桶を作れることが分かったので、ぜひ自宅に設置したい。 ・家庭菜園で雨水を利用したいと思っていたので、勉強になった。 ・作り方の説明が分かりやすく、簡単に作れることが分かって良かった。 		
取組の点検	アンケートによると、イベント内容について大部分の参加者が「満足」または「やや満足」と回答した。	
今後の取組目標	今後もイベントを継続し、天水桶の啓発と併せて、雨水利用と水環境に関する意識向上を目指す。また、参加者からのアンケート結果を参考に内容の充実化を図る。	

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林保全整備事業等
取組の目的	国有林野施業実施計画に基づく機能類型、施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源かん養機能の維持増進
実施場所	北上川流域
事業期間	平成26年度～平成30年度
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性及び地球温暖化のための森林整備 未施業森林の整備 79ha ・保安林の適正な整備 未間伐森林の整備 0ha
連携団体等	なし
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>○多様性に富む森林の整備 〔実施例〕除伐等による森林整備</p> <p style="text-align: right;">面積 79 ha (H26)</p> 	
取組の点検	生物多様性の保全、地球温暖化防止対策及び保安林の適正な森林整備を目的として計画的な事業実行に努めている。
今後の取組目標	平成30年度までの事業期間において、以下のとおり計画している。 <ul style="list-style-type: none"> ・未施業森林の整備 275ha ・未間伐森林の面積 157ha

報告団体等 宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林保全整備事業等
取組の目的	国有林野施業実施計画に基づく機能類型、施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源かん養機能の維持増進
実施場所	鳴瀬川流域
事業期間	平成26年度～平成30年度
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性及び地球温暖化のための森林整備 未施業森林の整備 19ha ・保安林の適正な整備 未間伐森林の整備 43ha
連携団体等	なし
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>○多様性に富む森林の整備 〔実施例〕除伐等による森林整備</p> <p style="text-align: right;">面積 62 ha (H26)</p> 	
取組の点検	生物多様性の保全、地球温暖化防止対策及び保安林の適正な森林整備を目的として計画的な事業実行に努めている。
今後の取組目標	<p>平成30年度までの事業期間において、以下のとおり計画している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未施業森林の整備 74ha ・未間伐森林の面積 393ha

報告団体等 宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分


団体名称	NPO法人 伊豆沼・長沼水環境ネットワーク
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	伊豆沼・長沼の水環境保全活動
取組の目的	伊豆沼・長沼の環境保全と湿原復元
実施場所	宮城県登米市迫町 伊豆沼・長沼
事業期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長沼、人と自然のふれあい調査実施 ・伊豆沼から復興国立公園へつなげるエコツーリズムの構築検討会実施 ・長沼バードピアづくり研修会実施 ・長沼地域の生きもの調査実施 ・登米市クリーンアップ湖沼群への参加
連携団体等	宮城県登米市
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>2014登米市クリーンアップ湖沼群(長沼会場)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃中の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>清掃後のごみ</p> </div> </div>	
取組の点検	—
今後の取組目標	バードピアづくり推進事業、伊豆沼・長沼及び水田の生きもの調査、伊豆沼・長沼から津山までエコツーリズム等の地域づくり推進を図っていく。

報告団体等 登米市

団体名称	水土里ネット大崎
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	内川水土里の路ウォーク
取組の目的	地域の歴史ある農業用水利施設、農業農村の多面的機能、水を育む森林の働きについて地域住民にPRする。
実施場所	宮城県大崎市岩出山
事業期間	平成26年10月18日
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>農業用水路「内川」沿線を歩くイベント「内川ウォーク」を開催。 伊達政宗によって開削された水路である内川沿いに岩出山の街を歩いた。 上流の取水施設である大堰の見学、紅葉の植樹や杉の枝打ち体験を行い、農業用水利施設の働き、水を育む森林の働き、土地改良区の役割を参加者にPRした。</p>
連携団体等	宮城県北部地方振興事務所、大崎市、水土里ネットみやぎ、大崎地区管理体制整備推進協議会
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>内川を歩く参加者</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>内川上流での植樹の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>集合写真</p> </div> </div>	
取組の点検	毎年参加するリピーターが多数いるものの、参加者の全体数は減少傾向にある。
今後の取組目標	地域内外の人が内川に訪れたいイベント内容へと改め、初参加者を増やし、内川への関心を高める。

流域水循環計画取組状況

平成26年度

団体名称	みやぎ森林づくり支援センター
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	第三回 県民参加の森林づくり植樹祭
取組の目的	森林の育成及び循環利用の普及促進
実施場所	石巻市東福田
事業期間	平成21年度～（平成23～25年度は震災のため休止）
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>◆ みやぎ森林づくり支援センターは、石巻市の合板会社及び合板工場に原木を供給している素材生産事業体等が設立した民間団体で、再造林を行った森林所有者に1ヘクタール当たり最大10万円を助成する取組を平成20年度から実施している。</p> <p>◆ 平成21年度からは、森林の育成及び循環利用の普及促進を図るため、毎年植樹祭を開催しており（平成23年度から25年度は震災の影響により休止）、平成26年度は、石巻市東福田の伐採跡地（石巻市有林）において、公募により市内外から参加した約140人がスギ苗木1,000本を植栽したものの。</p>
連携団体等	みやぎ森林づくり支援センターと宮城県の共催
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>植樹祭の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>植栽に用いられたコンテナ苗木。造林コストの低減が期待されている。</p> </div> </div>	
取組の点検	—
今後の取組目標	森林所有者の再造林を引き続き支援していく。

報告団体等 宮城県農林水産部 林業振興課

流域水循環計画取組状況

平成26年度

団体名称	宮城県(自然保護課)
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	伊豆沼・内沼自然再生事業
取組の目的	自然環境の遷移の進行を抑制するとともに、劣化した環境機能を修復し、多様な生物が生息・生育する淡水湖沼の生態系を有していた頃の伊豆沼・内沼への再生を目指す。
実施場所	栗原市及び登米市内の伊豆沼・内沼流域
事業期間	平成22年度～
取組の概要	<p>【平成26年度 of 主な取組】</p> <p>(1) 伊豆沼・内沼自然再生協議会の開催</p> <p>(2) 自然再生事業の実施</p> <p>① 沈水植物復元(埋土種子発芽実験, 沈水植物等沼内移植 等)</p> <p>② 水生植物群落保全(ヨシ・ハス刈り取り及びモニタリング)</p> <p>(3) よみがえれ在来生物プロジェクト事業の実施</p> <p>① 在来生物増加促進対策(ヤナギ漁礁を用いた在来生物繁殖場の造成 等)</p> <p>② 外来生物対策(電気ショッカーボート等による外来生物の駆除 等)</p> <p>(4) 水質改善効果検討調査</p>
連携団体等	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(上記(2), (3)の委託先), 国際航業(株)仙台支店(上記(4)委託先)

取組状況の結果・写真・図表等



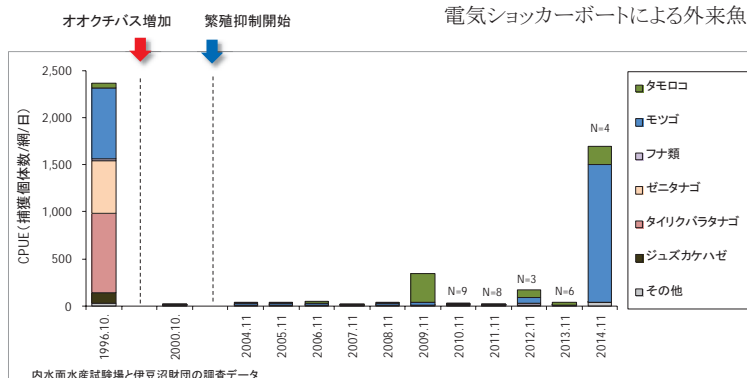
沈水植物(クロモ)の沼内植栽作業



電気ショッカーボートによる外来魚駆除作業



網によるブラックバスの稚魚すくい作業



定置網による在来魚類の捕獲数

取組の点検	新技術の開発・実験等により、外来魚駆除及びクロモの増殖・移植など、一部の取組では効果的な手法が確立され、外来魚駆除では大きな効果が現れている。
今後の取組目標	引き続き効果的な手法を検討していくとともに、これまでの実験等により効果的な手法が確立されたものについては、実施・検証を行いながら、段階的に規模を拡大していく。

報告団体等 県自然保護課

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	鬼首小学校・鳴子小学校きつね森体験／あつまれ鳴子ダム
取組の目的	里山(水源地域)の役割と重要性を知る
実施場所	鬼首きつね森／荒雄湖畔公園
事業期間	平成26年6月25日、6月27日、7月23日、7月26日
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に大崎市最高峰・禿岳(かむろだけ)に登り、豊かな自然について学ぶ ブナ原生林を学ぶための登山道整備 水源地域振興の一助として、水源地の森で様々な体験をする
連携団体等	
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>6月25日 禿岳登山</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>6月27日 源流探しの旅</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>7月23日 荒雄岳登山道整備</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>7月26日 「あつまれ鳴子ダム」支援</p>  </div> </div>	
取組の点検	水源地域の重要性のPRがまだまだ不足している
今後の取組目標	行政との一体的な取り組みを目指したい

報告団体等 特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会

団体名称	東北地方環境事務所
対象流域	北上川流域、鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	平成26年度国指定伊豆沼鳥獣保護区伊豆沼外来魚駆除事業
取組の目的	オオクチバス等の外来魚による被害の低減により在来の生態系を復元するとともに、水鳥等の集団渡来地としての生息環境の保全に資する。
実施場所	伊豆沼・内沼地内(宮城県栗原市及び登米市)
事業期間	平成26年5月9日～10月31日
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>ラムサール条約登録湿地である伊豆沼・内沼において、オオクチバスやブルーギル等の外来魚を駆除するため、過年次に実施した「オオクチバス等防除モデル事業」で得た防除技術を活かし、三角網(サデ網)や人工産卵床を用いて、外来魚の卵、稚魚、仔魚及び成魚の捕獲、駆除を実施した。また、これらで得られた各種データを収集し外来魚の生息状況の変化の把握を行った。</p>
連携団体等	請負事業
取組状況の結果・写真・図表等	
取組の点検	オオクチバスの稚魚約9.2万個体(前年の約7割)及び産卵床(卵、仔魚)を23個(本事業以外の駆除数を含む)を駆除。伊豆沼・内沼のオオクチバス及びブルーギルは減少傾向にある。
今後の取組目標	多様な駆除方法の組合せによる駆除の実施、地域主導型駆除活動の推進

団体名称	北上川下流河川事務所
対象流域	北上川流域 鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	北上川水系河川水辺現地調査(鳥類調査)
取組の目的	北上川水系における鳥類の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	北上川水系直轄管理区間
事業期間	平成26年4月～平成27年3月
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥類の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。 鳥類の集団分布状況、繁殖状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。 重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
連携団体等	

取組状況の結果・写真・図表等

- 鳥類の確認種類数:繁殖期78種、越冬期100種、合計135種
- 河川別の確認種類数は、区間の長い北上川が最も多く、次いで旧北上川が多い。
- 24種の重要種を確認
- 旧北上川、追波川でチュウサギの集団繁殖地を確認
- 北上川河口でコクガンの集団分布を確認、オオタカを旧北上川、江合川の広い範囲で確認。



調査実施状況

主な重要種



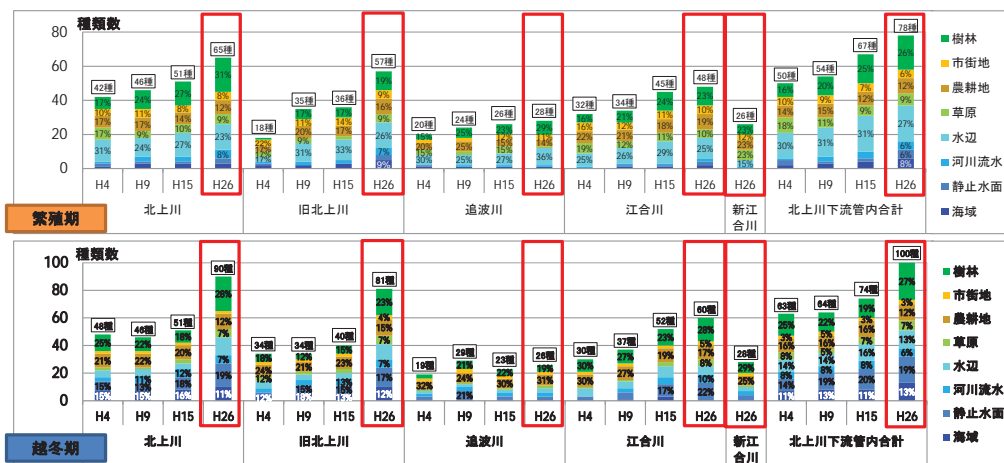
チュウサギ



コクガン



オオタカ



取組の点検 生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。

今後の取組目標 良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的手法で調査を実施する。

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	志田谷地地域環境保全組合(多面的機能支払組織)
対象流域	北上川流域・ 鳴瀬川流域 ・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ 豊かな生態系
活動事業名	下志田地区生きもの調査
取組の目的	農地整備事業「下志田地区」で施工した環境考慮型水路の施工前後における生息種の調査
実施場所	鳴瀬川流域 大崎市鹿島台大迫地内
事業期間	平成26年8月17日
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地整備事業で施工した環境配慮型水路(L=138m)において、施工前後の生息種に違いがみられるか調査したもの。 ・生息種のデータ収集、蓄積。 ・子ども達に地域の豊かな自然と環境保全への理解を伝える。
連携団体等	宮城県北部地方振興事務所, 下志田地区住民, NPO法人シナイモツゴ郷の会, 鶴田川沿岸土地改良区
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>環境考慮型水路</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生きもの調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採集した生物の勉強会の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>生きものチェックシート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>集合写真</p> </div> </div>	
取組の点検	施工前に1回, 今回施工後3回目の調査である。今回魚類ほか15種の生物を確認したが, メダカなど施工後確認できていない生物がいる。
今後の取組目標	下志田地区は平成28年に事業完了予定であるが, 今後も地域の交流の場として生きもの調査が続いていくことを目指している。

報告団体等 宮城県北部地方振興事務所

団体名称	増田川流域マップ制作実行委員会
対象流域	名取川流域
取組分類	豊かな生態系
活動事業名	「増田川流域マップ」プロジェクト
取組の目的	増田川流域の“生きもの”を紹介するマップを制作し、市民の川に対する意識の高揚を図る
実施場所	増田川流域全般
事業期間	平成26年4月～10月
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>☆「増田川流域マップ」作成、配布(10月):富士写真フィルム・グリーン・ファンドの助成を受け前年より作業を続けてきた「増田川流域マップ」が10月に完成(2000部)。それを流域の小中高校7校、公民館5館に50部ずつ配布する。それがきっかけとなり、増田西公民館のシリーズ講座「地域力向上プロジェクト」のテーマに“増田川”が取り上げられる。</p>
連携団体等	ゆりりん愛護会
<p><取組状況の結果・写真・図表等></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><増田西公民館での講座></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><「地域力向上講座」スナップ></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><増田川流域マップ></p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p><プロジェクトチーム></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><増田川現地調査></p> </div> </div>	
取組の点検	「増田川流域マップ」がきっかけとなり、公民館と地域住民が協働で取り組む「地域力向上プロジェクト」から、増田川を活用したプロジェクトの実践に向けてチームが結成される。
今後の取組目標	・プロジェクトチーム名:「キラキラパルク増田西」・理念:「共に学び、共に認め合い、笑顔あふれる楽しい地域」・テーマ:「増田川で遊ぼう」

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	宮城県水産技術総合センター 内水面水産試験場
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	漁場環境保全推進事業(広瀬川におけるアユの遡上量調査)
取組の目的	広瀬川のアユの資源状況を把握するため、遡上量の調査を行う。
実施場所	広瀬川(名取川との合流点付近・郡山堰下・愛宕堰下の3地点)
事業期間	平成26年の5・6月
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>実施期間内に投網を用いてアユを採捕し、遡上量の状況を把握した。結果は速報として、宮城県のホームページで公開した。</p>
連携団体等	広瀬名取川漁業協同組合
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">投網によるアユ採捕の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">採捕されたアユ</p>	
取組の点検	例年通り順調にアユが遡上していると考えられた。
今後の取組目標	長期的なアユ遡上量の変化が把握できるよう、今後もモニタリングを継続する。

報告団体等

宮城県水産技術総合センター 内水面水産試験場

団体名称	特定非営利活動法人 名取ハマボウフウの会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	名取の海岸再生を目指す「海岸のお花畑づくり」事業
取組の目的	東日本大震災で生残った海浜植物をよみがえらせ、壊滅的な被害を受けた名取の海岸環境を回復し、次世代へ継承していくこと。
実施場所	名取市閑上海岸
事業期間	平成26年4月～平成27年3月
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広瀬川流域1万人プロジェクト:会場担当団体として閑上海岸清掃 (4/26、9/27) ・ふるさと海辺フォーラム&移植会の開催 (6/21～22) ・高校生夏のボランティア体験支援 (8/3～4) ・各種団体、企業との協働による海岸清掃 (10/4、10/11)
連携団体等	認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、広瀬川1万人プロジェクト実行委員会、名取市、
取組状況の結果・写真・図表等	
 <p>春季広瀬川1万人プロジェクト清掃 4/26</p>	
 <p>海岸のお花畑再生事業第1日目 ふるさと海辺フォーラム 6/21</p>	
 <p>海岸のお花畑再生事業第2日目 ハマボウフウ海岸移植会 6/22</p>	
 <p>秋季広瀬川1万人プロジェクト清掃 9/27</p>	
 <p>ハマボウフウ保護区の保護柵と 黄色いハンカチ設置 10/4・10/11</p>	
 <p>高校生夏のボランティア体験受入 8/3・8/4</p>	
取組の点検	平成26年3月に海岸防潮堤が完成。海岸への出入りが可能となりハマボウフウ保護区補修等、活動も本格化した。植物再生もゴミ収集もほとんどすすんでいない。
今後の取組目標	活動の定例化を図り、海浜植物の群落形成環境を整え海岸環境保全を推進する。

流域水循環計画取組状況 平成26年度実施分

団体名称	仙台市環境局環境対策課
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	水生生物調査
取組の目的	川にすむ生き物を採集し、その種類を調べることで、水質(水のごよれの程度)を判定する。
実施場所	名取川(馬場字町南地先、鴻巣温泉前)、広瀬川(野川橋上流、鳴合橋下流)、七北田川(鼻毛橋上流、かむり大橋上流)
事業期間	平成26年7月31日～平成26年9月9日
取組の概要	【平成26年度の主な取組】 仙台市内の主要3河川において、小中学校と連携しながら水生生物調査を行う。採集された指標生物から河川の水質階級を判定することで、参加者への環境教育を行う。
連携団体等	馬場小学校、大沢中学校、広瀬中学校科学部、七北田中学校、根白石中学校
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>調査地</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水生生物採集の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水生生物同定の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採集された水生生物</p> </div> </div>	
取組の点検	平成26年度は、市内5箇所の小中学校と一緒に調査を実施した。1箇所は環境対策課だけで調査を実施した。すべての地点で水質階級Ⅰ(きれいな水)と判定された。
今後の取組目標	これまで参加経験の無い小中学校からも参加協力を得られるよう積極的に働きかける。

報告団体等 仙台市環境局環境対策課

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	仙台河川国道事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ 豊かな生態系
活動事業名	総合学習
取組の目的	管内で持っている多種多様なフィールドを使った学習支援活動を実施
実施場所	広瀬川
事業期間	平成26年7月～8月
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>7月8日、仙台市立八本松小学校5年生が、川とふれあい、水生生物の調査や水質調査を実施。 7月15日・16日、仙台市立郡山小学校2～3年生が、川とふれあい、水生生物を採取、観察を実施。 7月24日、仙台市立八木山中学校1～3年生が、水生生物による簡易水質調査を実施。</p>
連携団体等	NPO法人広瀬川の清流を守る会(7/24仙台市立八木山中学校)
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■仙台市立八本松小学校</p>  <p>▲水生生物を調査中</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>■仙台市立郡山小学校</p>  <p>▲水生生物を調査中</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>■仙台市立八木山中学校</p>  <p>▲水生生物を調査中</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲パックテストを使った水質調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲水生生物を観察中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲水生生物を観察中</p> </div> </div>	
取組の点検	総合学習の感想として、広瀬川への愛着と環境問題への意識の高揚を図ることができた。地域に流れている川を守り、大切にしていけることを学ぶことは重要だと思うなどの声が寄せられている。
今後の取組目標	今後も多種多様な学習ができるメニューを計画し、活動を継続していく。

報告団体等 東北地方整備局

団体名称	仙台河川国道事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ 豊かな生態系
活動事業名	名取川水系河川水辺現地調査(底生動物)
取組の目的	名取川水系における底生動物の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	名取川水系直轄管理区間
事業期間	平成26年5月～平成27年2月
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 底生動物の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。 特定外来種等の分布状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。 重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
連携団体等	

取組状況の結果・写真・図表等

●調査実施状況(底生動物)



Dフレームネットの実施状況

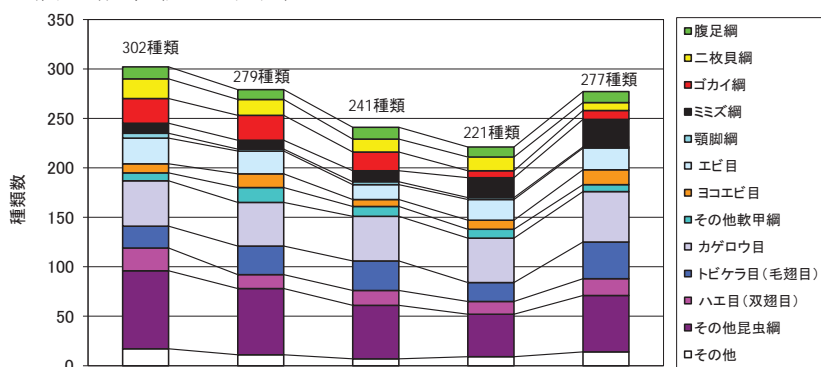


サーバーネットの実施状況



エクマン・バージ採泥器の実施状況

●調査結果(底生動物)



- 重要種は合計14種が確認された。
- 外来種は合計5種類が確認され

取組の点検	生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林ふれあい教室 林業体験 等
取組の目的	森林の整備・保全への国民参加の促進
実施場所	北上川流域
事業期間	平成26年度～平成30年度
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備活動 栗原市 0.20ha(植付)
連携団体等	NPO等
取組状況の結果・写真・図表等	
	
植樹活動の様子	
取組の点検	地元NPO等により森林整備活動が実施されており、フィールドの提供等を行っている。
今後の取組目標	フィールドの提供及び森林ふれあい教室や林業体験等を実施し、県民が森林とふれあう機会を多く設けることで事業の充実を図る。

報告団体等 宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

平成26年度実施分

団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林ふれあい教室 林業体験 等
取組の目的	森林の整備・保全への国民参加の促進
実施場所	鳴瀬川流域
事業期間	平成26年度～平成30年度
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林ふれあい教室 加美町 ・森林整備活動 大和町(歩道整備等)
連携団体等	一般企業、NPO等
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>林内での学習会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>歩道刈払作業の様子(遊々の森)</p> </div> </div>	
取組の点検	企業のCSR活動及び地元NPOの活動として森林整備活動が実施されており、フィールドの提供等を行っている。また、森林ふれあい教室を開催し、森林とのふれあいの場を提供している。
今後の取組目標	フィールドの提供及び森林ふれあい教室や林業体験等を実施し、県民が森林とふれあう機会を多く設けることで事業の充実を図る。

報告団体等 宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

平成26年度

団体名称	宮城県(自然保護課)												
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域												
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系												
活動事業名	みやぎの里山林協働再生支援事業												
取組の目的	企業のCSR活動を主体とした県民参加による里山林整備を促進する												
実施場所	女川町ほか県内全域												
事業期間	平成20年度～												
取組の概要	<p>【平成26年度の主な取組】</p> <p>里山林は、幾世代にもわたって自然と共生した農林業が営まれることで形成された、身近で持続可能な生物多様性に富んだ自然空間である。近年は手入れが行き届かずに荒れつつある。一方では、環境問題への関心が高まる中、環境に配慮した社会貢献の一環として森林づくりに取り組む企業等が増えている。このため県は、「みやぎの里山林協働再生支援事業」を通して、森林づくり活動を行おうとする企業等と、活動の場が提供できる森林所有者との橋渡し役となり、県民参加による里山林の整備を促進している。</p>												
連携団体等	森林所有者、企業及び団体、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会等												
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>○平成26年度の企業等による里山林整備活動の新規協定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>件数</th> <th>面積(ha)</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川町</td> <td>2</td> <td>10.19</td> <td>間伐・下刈り</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2</td> <td>10.19</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○企業等による里山林整備活動の実施状況(事例)</p>		市町村	件数	面積(ha)	活動内容	女川町	2	10.19	間伐・下刈り	計	2	10.19	
市町村	件数	面積(ha)	活動内容										
女川町	2	10.19	間伐・下刈り										
計	2	10.19											
取組の点検	取組内容の認知拡大と拡充を図る必要がある。												
今後の取組目標	より多くの企業等の参画を促進し、県民参加による森づくりと取組を通じた自然環境教育を推進する。												

報告団体等 県自然保護課

団体名称	宮城県(自然保護課)				
対象流域	北上川流域 鳴瀬川流域 名取川流域				
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系				
活動事業名	百万本植樹事業				
取組の目的	緑豊かな県土と潤いのある生活環境を創造し、県民の緑化活動への積極的な参加を促進する				
実施場所	石巻市 ほか県内全域				
事業期間	平成5年度～				
取組の概要	【平成26年度の主な取組】				
	事業年度	実施市町村	施行箇所数	植栽樹種	植栽本数
	北上川流域	石巻市ほか3	18箇所	キンメツゲ, ソメイヨシノほか26種	1,041本
	鳴瀬川流域	大崎市	1箇所	アカマツ	260本
	名取川流域	仙台市	1箇所	オオムラサキツツジほか2種	63本
計	5	20箇所	31種類	1,364本	
連携団体等	なし				
取組状況の結果・写真・図表等					
○代表事例					
 <p>石巻市の小学校における植樹</p>			 <p>大崎市内における植樹</p>		
 <p>公園の法面の植樹</p>			 <p>被災した石巻市の公園における植樹</p>		
取組の点検	今後、震災により被災した沿岸地域における取組が増えてくるものと思われる。				
今後の取組目標	県民一人一人が積極的に緑化活動に関わり、より多くのみどり環境が造成されるよう事業の推進を図る。				